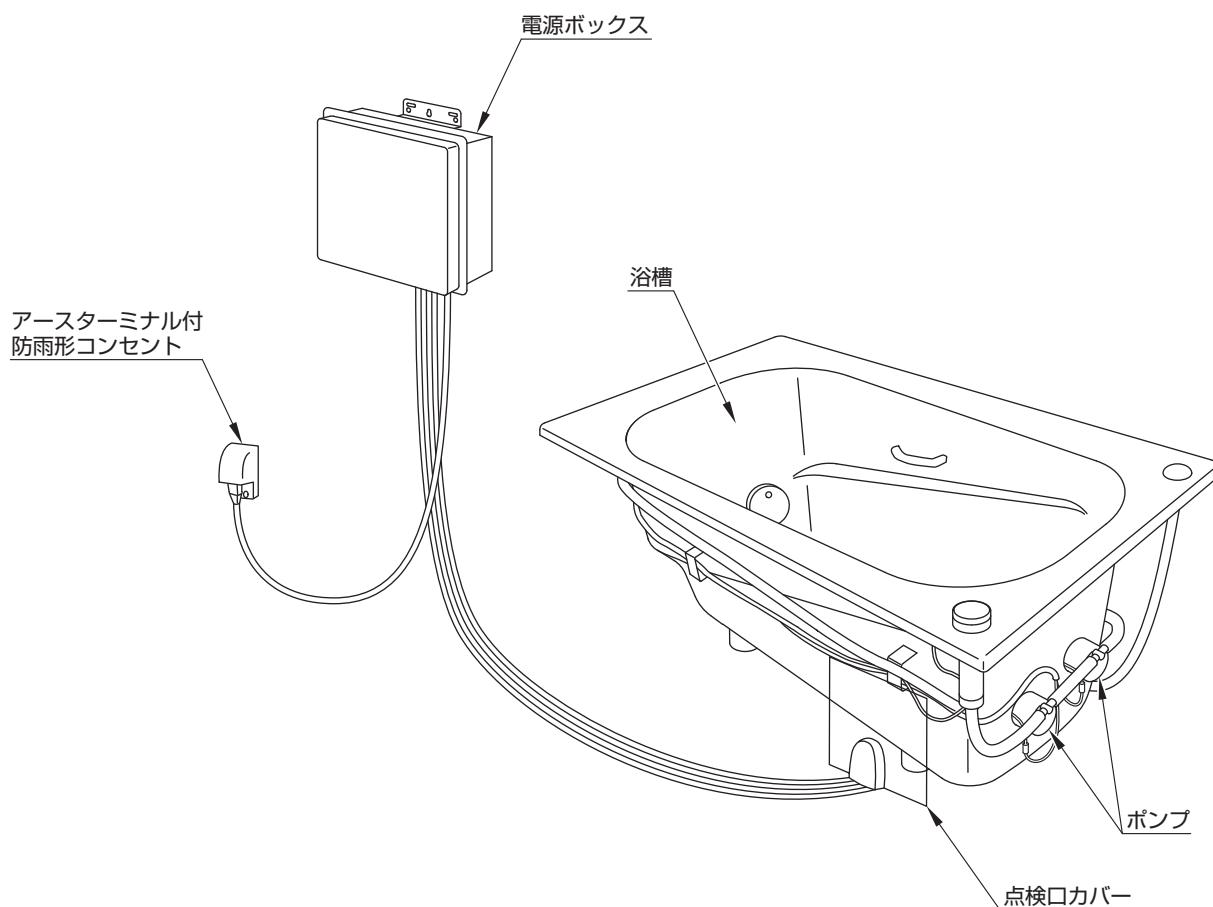


## ネオエクセレントバス(ブローバスSXⅡ)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく施工してください。  
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

- このたびはTOTOブローバスSXⅡをご採用いただきましてありがとうございました。
- 浴槽据付・ポンプ・電源ボックス取付工事及び電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。
- 工事完了後は、お客様に操作説明を行いこの施工説明書と同封の「取扱説明書(保証書付)」を必ずお渡しください。  
なお、「取扱説明書(裏面)」の「保証書」には必要事項を必ず記入してください。
- 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がございますのでご了承ください。



- 本製品は、**1階専用**です。
- 2階以上に設置する場合は**防水層の工事**が必要になります。







# 目 次

1. 安全上のご注意	1
2. セット内容	6
3. 寸法図及び仕様	7
1. 浴槽寸法図	7
2. 電源ボックス寸法図	9
3. 電源ボックス仕様	9
4. 施工上のご注意	10
1. 設置場所の選定	12
2. 電源ボックスの保護	12
5. 施工手順	13
6. 施工要領	14
6-1. 浴槽設置工事	14
1. 浴槽の穴あけ	14
2. ポンプ接続コード壁開口位置の確認	16
3. 下地づくり	17
4. コントローラー取付位置の確認	19
<b>ケースAの場合</b> 5-A. コードの取り出し、取り付け	21
6-A. 浴槽の据え付け	23
<b>ケースBの場合</b> 5-B. コードの取り出し、取り付け	25
6-B. 浴槽の据え付け	27
6-2. ポンプ・電源ボックス設置工事	29
1. ポンプ取り付け	29
2. 電源ボックスの取り付け	32
3. コードの接続	33
4. 電気工事	34
5. 確認及び試運転	35
6-3. 仕上げ	38
1. タイル仕上げ	38
2. 点検口カバーの取り付け	42
7. 最終確認	43
1. ブローバスSXⅡの確認及び試運転	43
8. 別売品一覧表	43




# 1. 安全上のご注意

## ●安全のために必ずお守りください。

取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
この施工説明書では、製品を安全に正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害及び工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表 示	意 味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表 示	意 味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続してください。



取付工事完了後、施工説明書に記載の「確認及び試運転(P35～P37)」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書(保証書付)は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、取扱説明書(裏面)の保証書には必要事項を必ずご記入ください。

## 警告



必ず実行

### 設置は、施工説明書にしたがって確実にを行う

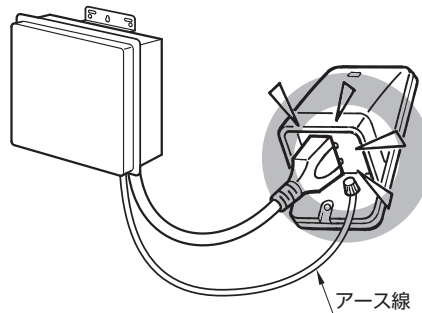
設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。  
また、水漏れにより家財などへ被害をあたえるおそれがあります。



アース接続

### アース(D種接地)工事がされていることを確認する

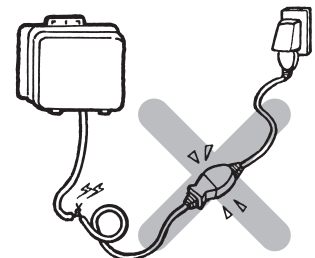
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。  
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



禁止

### 電源コード・ポンプ接続コード・コントローラーコードの加工をしない また電源コードへの延長コード使用、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。



必ず実行

### 電源ボックスの設置は、質量に十分耐える強度のある壁に 施工説明書通りに確実にを行う

設置に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。



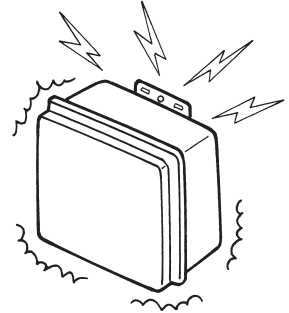
## ⚠ 警告



必ず実行

メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取り付ける場合、電源ボックスと造営物とは電氣的に接続しない

感電や発熱・火災の原因となります。



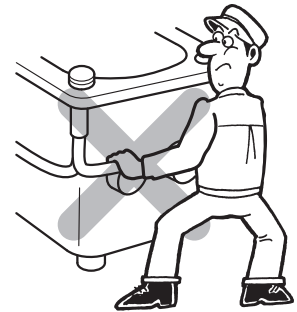
## ⚠ 注意



禁止

浴槽搬入の際、エアース・サイレンサー・コード案内板・ポンプケース・ワンプッシュ排水栓の操作部本体やホースなどを持ちたり、硬いものをぶついたりしない

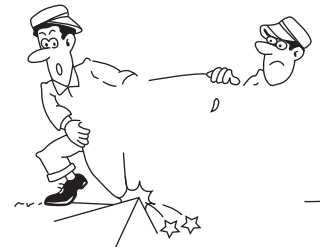
ブロー運転時の騒音、及び水漏れにより家財などへ被害をあたえるおそれがあります。



禁止

浴槽に硬いものを落したり、ぶついたりしない

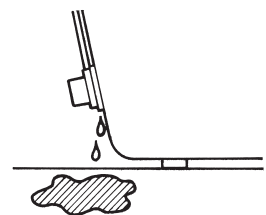
浴槽にひびが入りケガをしたり、また、水漏れにより家財に被害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

ポンプの取り付けは、手順にしたがって確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財などへ被害をあたえるおそれがあります。

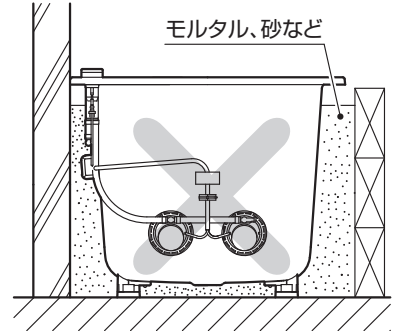


## ⚠ 注意



### モルタルなどで浴槽裏面を埋めない

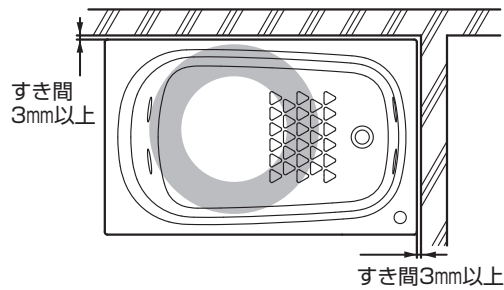
浴槽破損の原因や、ブロー運転時の騒音の原因となります。



必ず実行

### 浴槽を据え付ける際、壁・タイルと浴槽との間には、3mm以上のすき間を設ける また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実に実行

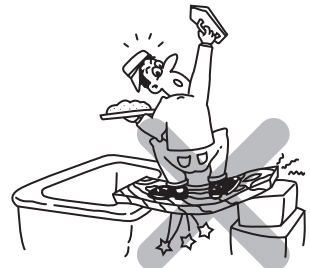
浴槽が熱膨張によりタイルなどの壁材を破損させ水漏れし家財などへ被害をあたえるおそれがあります。  
また、ブロー運転時の騒音の原因となります。



禁止

### 浴槽の上に乗って作業をしない

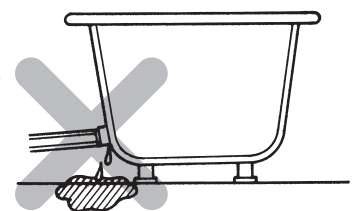
足をすべらせてケガをしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。



必ず実行

### 浴槽への穴あけは、穴あけ許容範囲内で行う

穴あけ許容範囲外に穴あけした場合、水漏れにより家財などへ被害をあたえるおそれがあります。



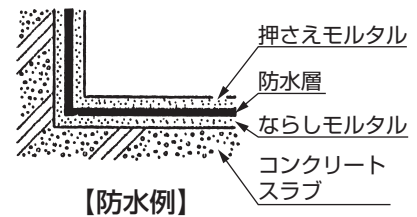
## ⚠ 注意



必ず実行

### 2階以上に設置する場合は、必ず防水層を設ける

工事に不備があると階下へ水漏れし、家財などへ被害をあたえるおそれがあります。



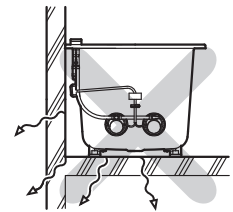
【防水例】



必ず実行

### 集合住宅などで階上設置する場合、階下への防振対策を行う

防振対策に不備があるとプロー運転時の騒音の原因となります。



必ず実行

### 開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する


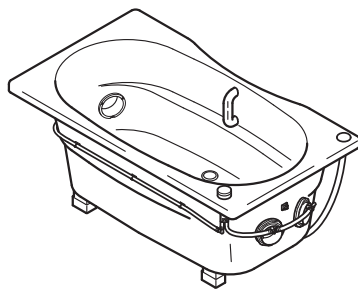




段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。

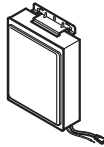



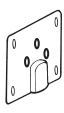


また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 2. セット内容

- この製品の梱包は2梱包（水栓付きは3梱包）あります。  
下記梱包ごとに、部品と個数を確認してください。

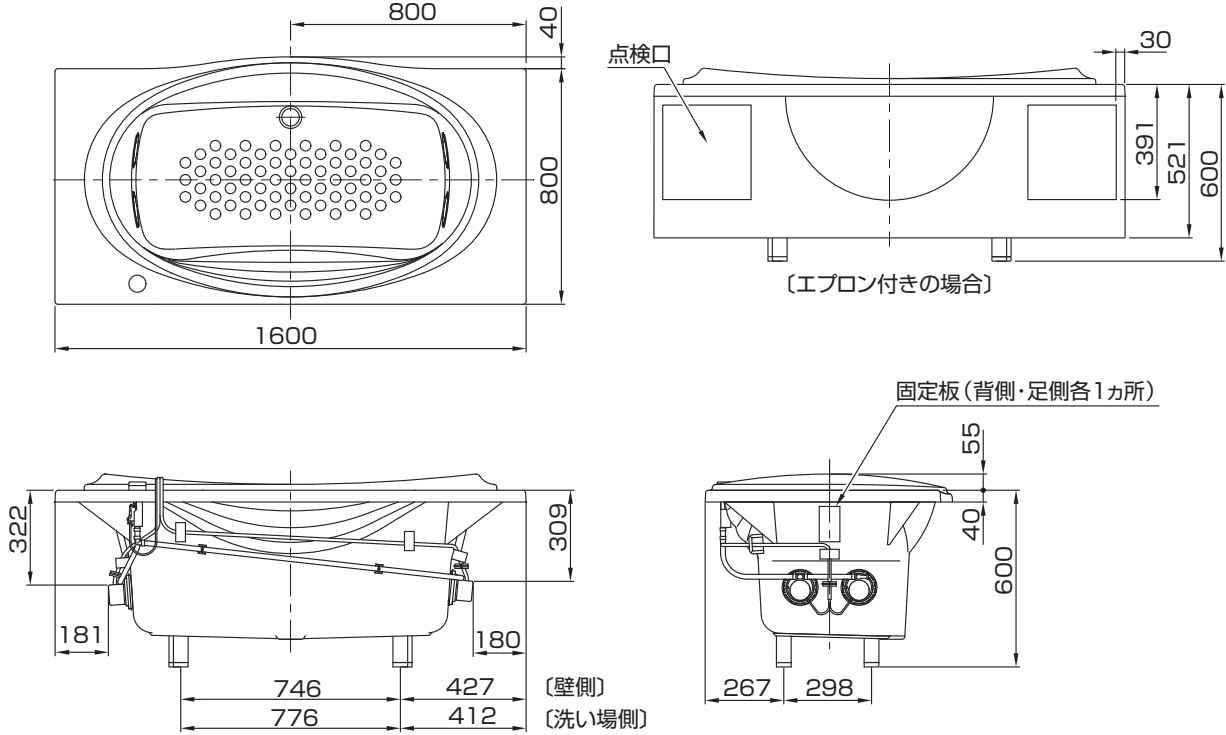
	品名	形状	個数	浴槽本体	個数
浴槽本体部	施工説明書		1	 *形状は機種によって異なります。	1
	取扱説明書（保証書付）		1		
	型紙 （PAQ1600、PAQ1400のみ）		1		
	ポンプ取合確認用型紙		1		
	点検口カバー取外し用吸盤 （点検口付浴槽のみ）		1		

	品名	形状	個数
機能ユニット部	電源ボックス		1
	ポンプ	化粧カバー  ポンプ 	各4
	ねじ	(M3)  予備4本入り	16
	点検口カバー		1
	コントローラー	 タッピンねじ（φ4.2×25）2本	1
	コントローラーコード （8m）		1

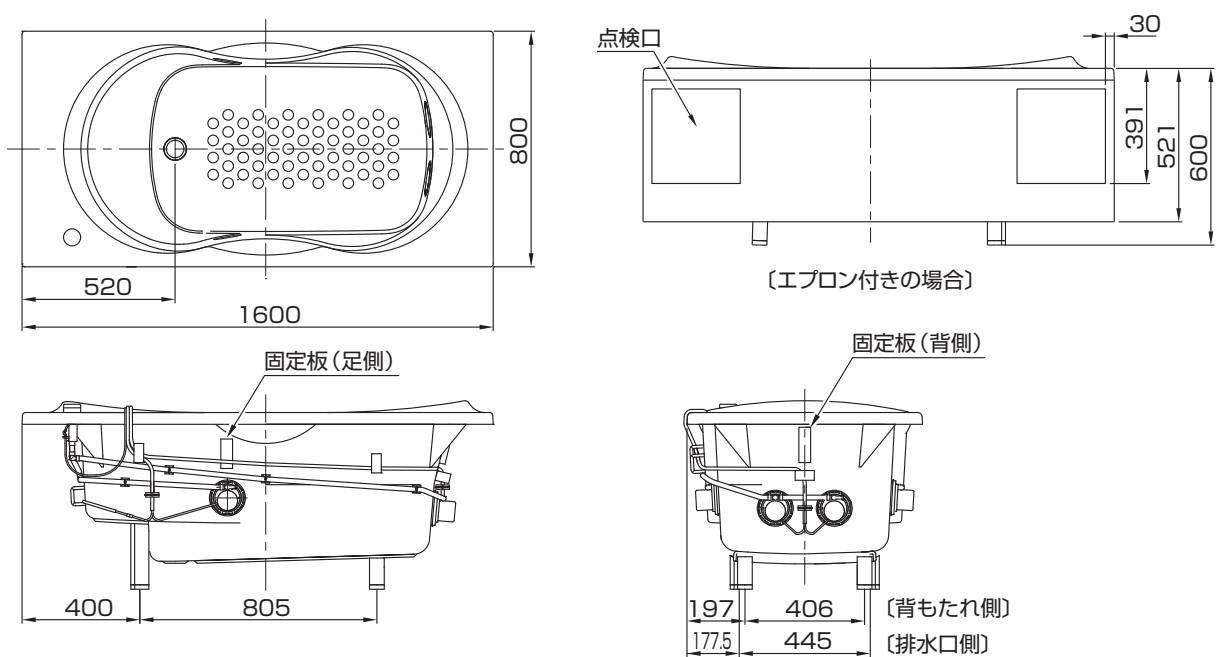
# 3. 寸法図及び仕様

## 1 浴槽寸法図

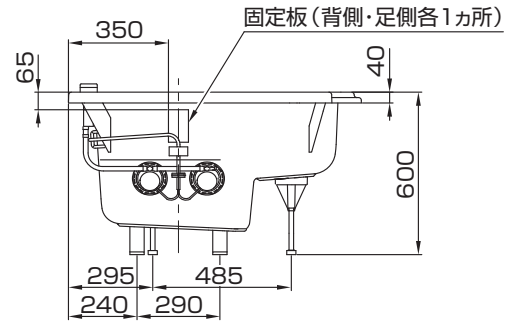
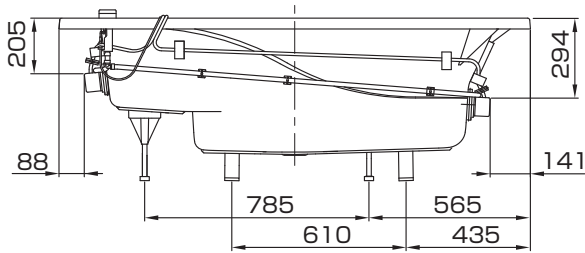
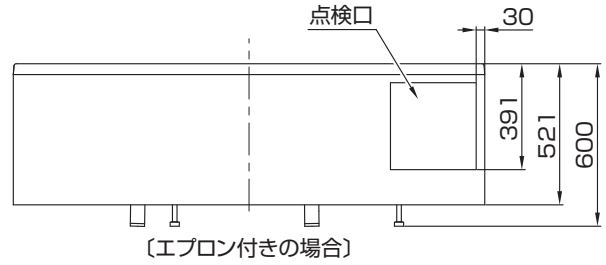
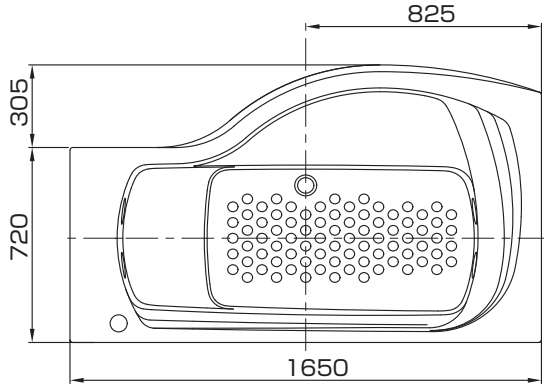
### ① PAQ1600・1601



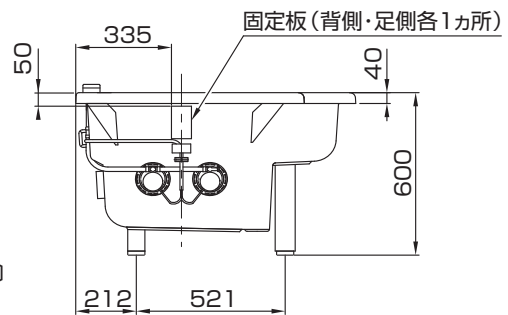
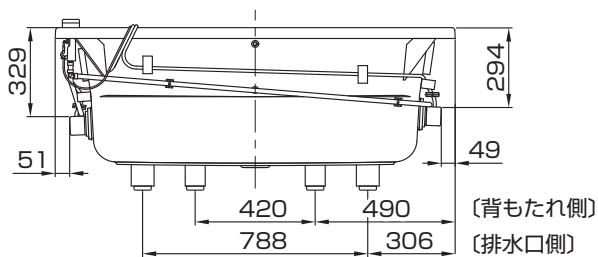
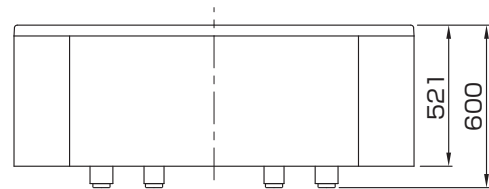
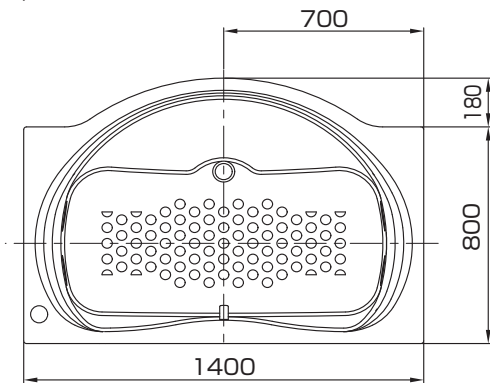
### ② PAQ1610・1611



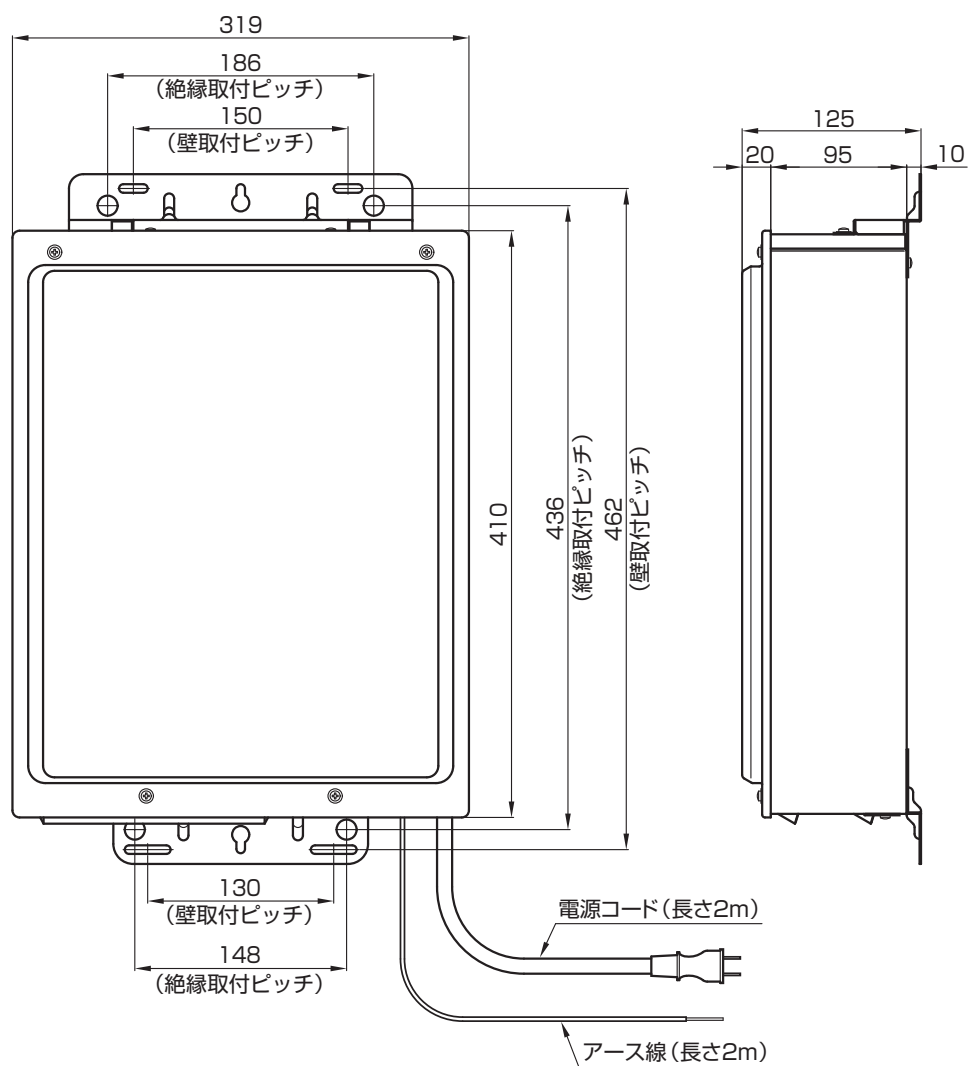
### ③ PAQ1620・1621



### ④ PAQ1400・1401



## 2 電源ボックス寸法図



## 3 電源ボックス仕様

品名	ブローバスSXII 電源ボックス
外寸(mm)	319(幅)×125(奥行)×410(高さ)
本体質量	13kg
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz (共用)
定格電流	4.6A
定格消費電力	360W
設置場所	屋外壁掛形

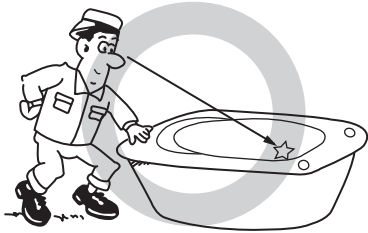
# 4. 施工上のご注意

● ブローバス施工において必ず守ってください。

## (1) 浴槽本体

1

浴槽据付け前に、浴槽本体・取付部品に異常がないことを確認する



2

脚立などを浴槽内に立てない



(破損の原因となります)

3

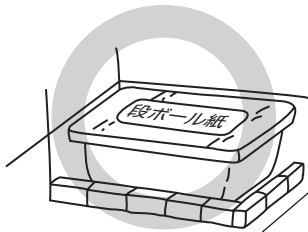
浴槽の縁に重い物をのせない



(破損の原因となります)

4

浴槽の養生シートをはがさない  
また、浴室工事が終わるまで浴槽を段ボールなどで養生する



(破損の原因となります)

5

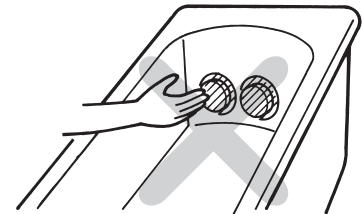
トーチランプの火を当てたり、火のついたタバコを浴槽にのせない



(破損の原因となります)

6

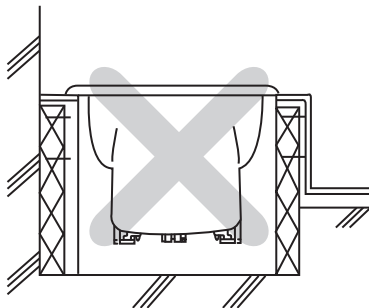
ポンプケースの保護材は、浴槽据付け後、ポンプの取り付けまでは取り外さない



(破損の原因となります)

7

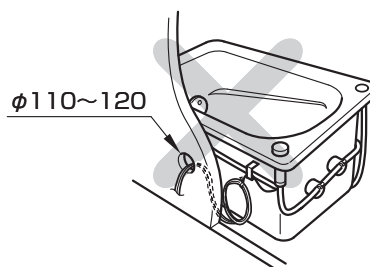
リム面だけで支える施工は行わない



(破損の原因となります)

8

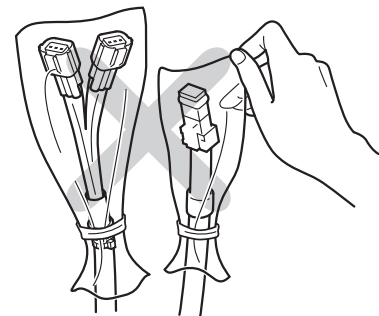
コードを浴室で束ねたり、床につけない  
また、取出し穴はφ110～120であける



(メンテナンスができなくなります)

9

コードの保護材は、コードを接続するまで取り外さない

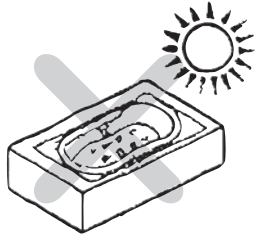


(破損の原因となります)

## (1) 浴槽本体 つづき

10

浴槽は屋外や常時、日の当たる場所（サンルームなど）に設置しない



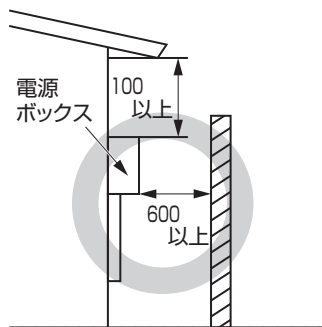
(浴槽の変色の原因となります)

- 浴槽を廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

## (2) 電源ボックス

1

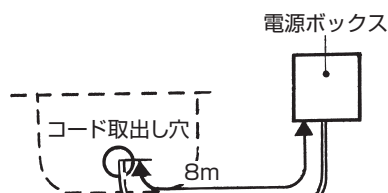
電源ボックスは **点検できる場所に設置**する



(点検できなくなります)

2

接続コード長さは浴槽センター取出位置より8mです  
電源ボックスはコード接続可能な範囲で取り付ける

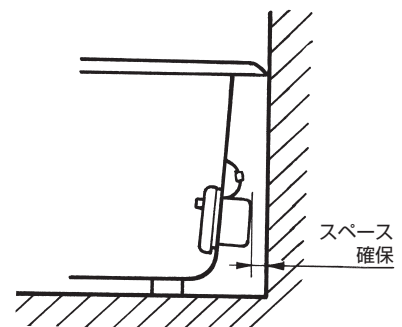


(コード長さが足りない場合、浴槽据付け前に長尺コード(別売品)に交換してください)

## (3) ポンプ

1

ポンプを取り付けるスペースを確保する  
(P7~P8 浴槽寸法図参照)

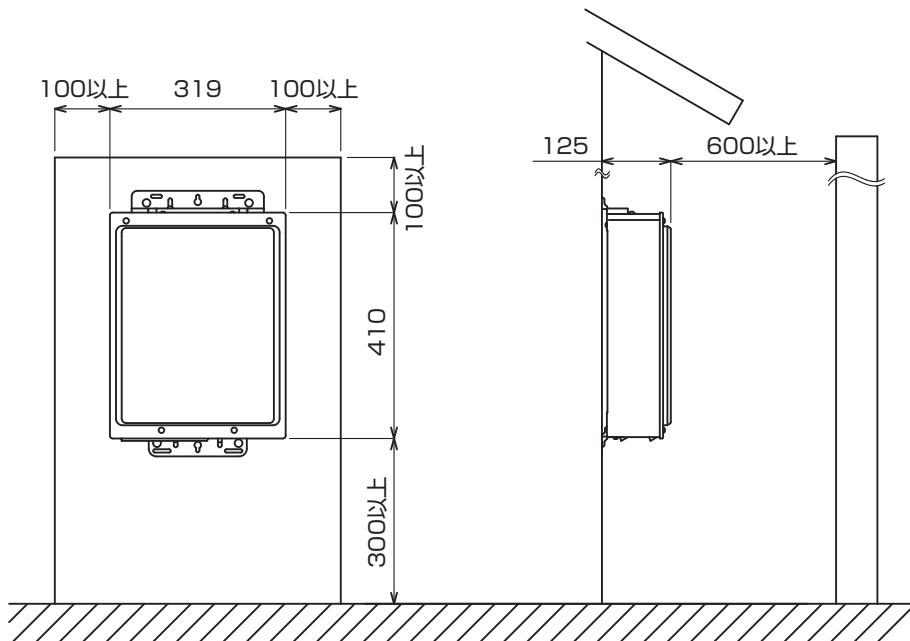


(ポンプの取り付けができなくなります)

## ● 電源ボックスの設置にあたっては次の点にご注意ください。

### 1 設置場所の選定

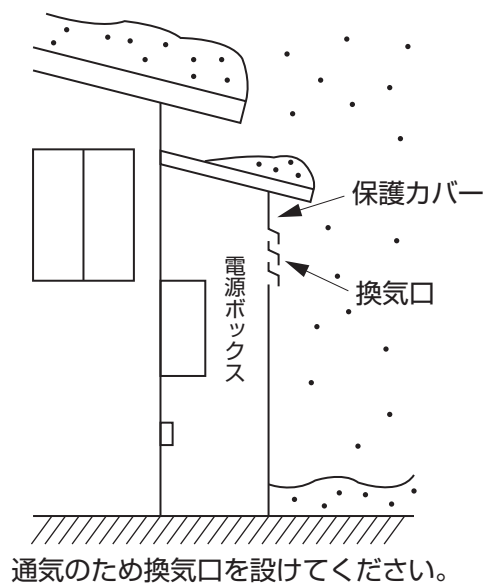
- 電源ボックスは浴室内及び換気の悪い場所には設置しないでください。
- 取り付け・保守点検のため **下記スペースを確保** してください。
- 電源ボックスの質量(13kg)に耐えられる強度のある壁に設置してください



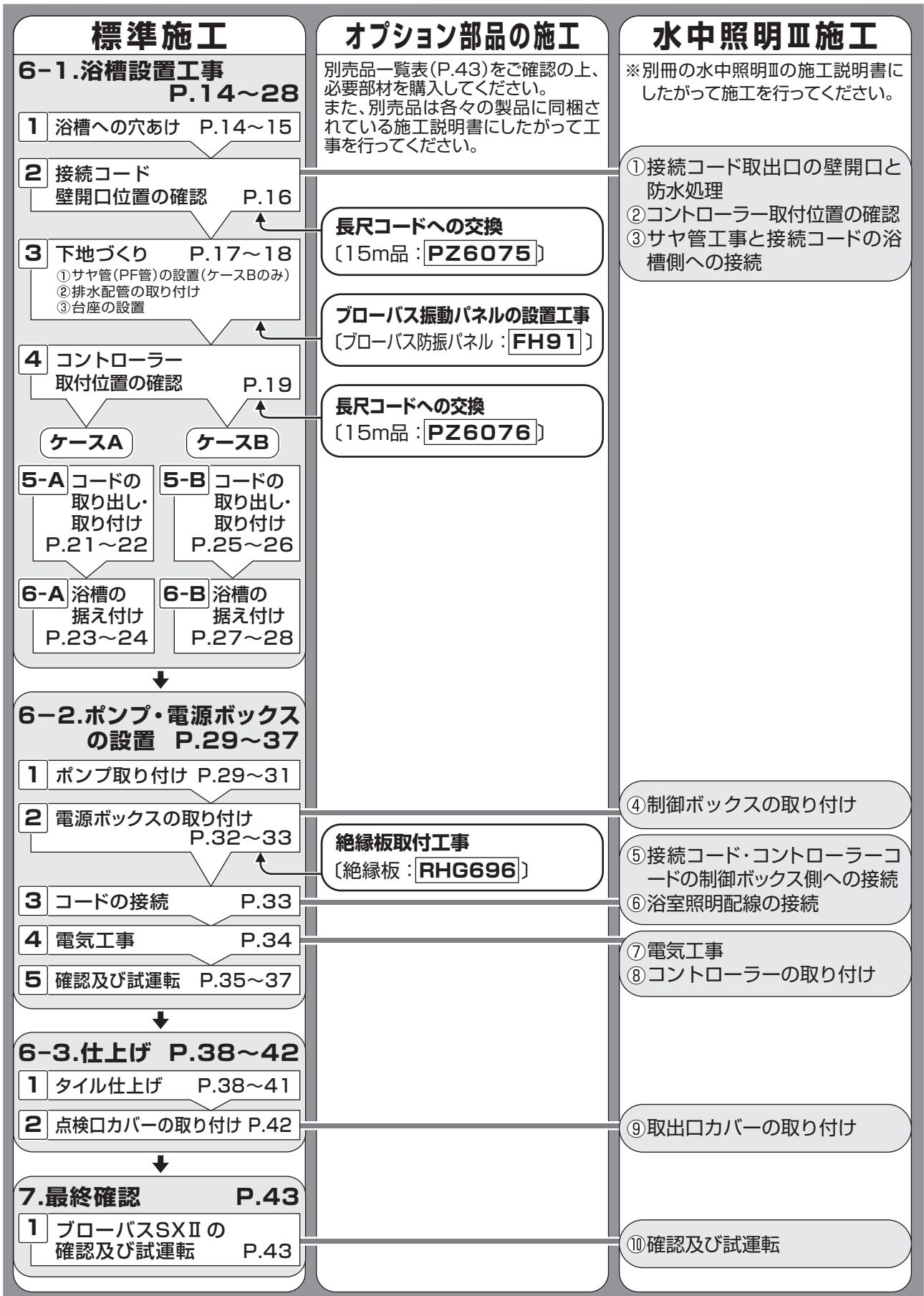
### 2 電源ボックスの保護

電源ボックスは屋外壁掛形ですのでカバーは絶対取り外さないでください。  
また、さらに次のような条件では電源ボックスに保護カバーを取り付けてください。

- ① 海岸地区(塩害による腐食などの防止)
- ② 積雪が予想される地域



# 5. 施工手順



# 6. 施工要領

## 6-1. 浴槽設置工事

### 1 浴槽の穴あけ(給湯機などの循環アダプタを取り付ける場合)

※自然循環式給湯機は使用できません。  
※浄化ユニットの取り付けはできません。



**注意**



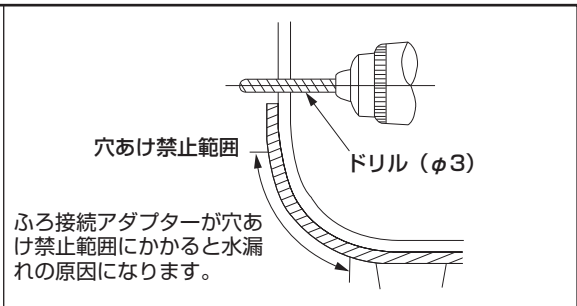
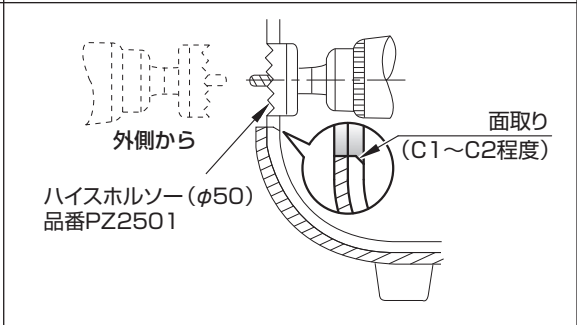
必ず実行

浴槽への穴あけは、穴あけ許容範囲内で行う

穴あけ許容範囲外に穴あけした場合、水漏れにより家財などへ被害をあたえるおそれがあります。

#### (1) 穴あけ手順

- 穴あけをする場合、穴あけ位置にポンプ接続コードがないことを確認してから行ってください。
- 穴あけ後は穴の**エッジ面の面取り**をしてください。

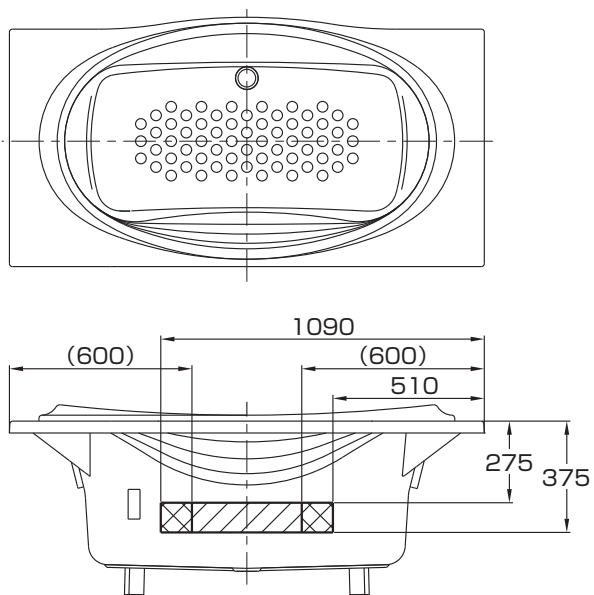
<p>①穴あけ位置にφ3のドリルで浴槽内側からセンター穴をあけてください。</p>	
<p>②センター穴をガイドにしてφ50のハイスホルソーで浴槽内側から半分位置穴あけし、次に浴槽外側より貫通穴をゆっくりあけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ドリルは400rpm以下でご使用ください。</li><li>・穴あけ周囲は、紙やすりなどでC1～C2程度面を取ってください。</li></ul>	

- 穴あけ許容範囲は、P.15に記載していますので確認してください。

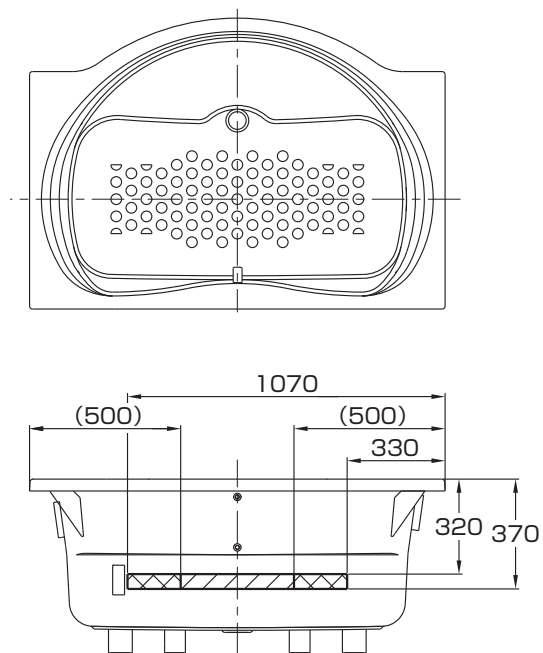
## (2) 穴あけ中心位置

※水中照明皿と同時セレクトの場合は( )寸法の範囲で穴あけしてください。

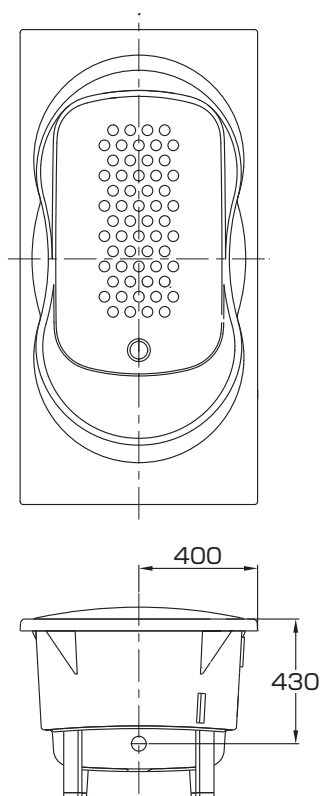
① PAQ1600・1601



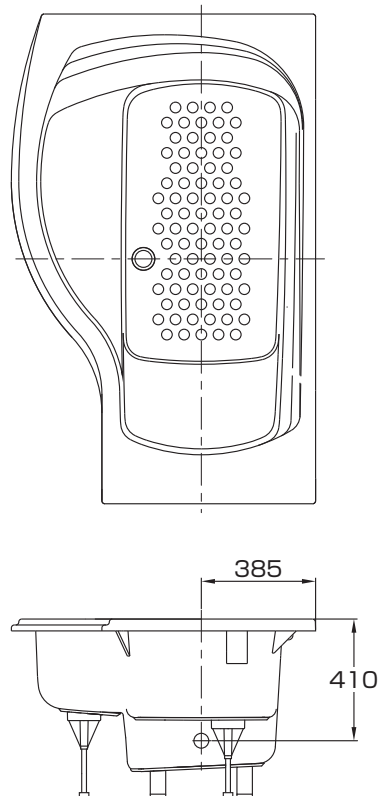
③ PAQ1400・1401



② PAQ1610・1611



④ PAQ1620・1621

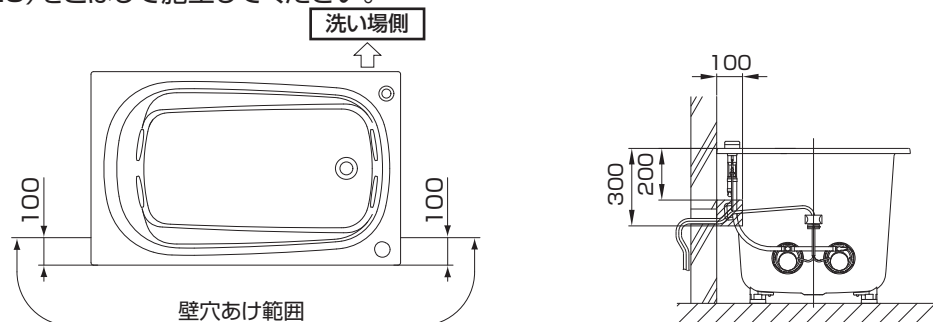


## 2 ポンプ接続コード壁開口位置の確認

- ネオエクセレントバスは、ポンプ接続コードの壁取出し穴の位置によって **下地づくり** ~ **浴槽の据え付け** までの施工方法が異なります。  
必ず最初に壁開口位置を確認してください。

### ケースA

- 下図の範囲にポンプ接続コードの壁取出し穴を開口できる場合は、**ケースAの場合** になりますので、**ケースBの場合**(P.25~28)をとばして施工してください。



### ケースB

- ケースA** の範囲にポンプ接続コードの壁取出し穴を開口できない場合、もしくは配線を壁に埋め込む場合は、必ずサヤ管(PF管等)を使用して施工してください。サヤ管(PF管等)を使用しないと、ポンプ接続コードのメンテナンスが出来なくなります。  
上記の場合は**ケースB**の施工となりますので、**ケースAの場合**(P.21~24)をとばして施工してください。  
※**6-3.仕上げ**(P.38~42)以後の施工方法は、ケースA,Bとも共通です。

### 3 下地づくり



**注意**



必ず実行

2階以上に設置する場合は、必ず防水層を設ける

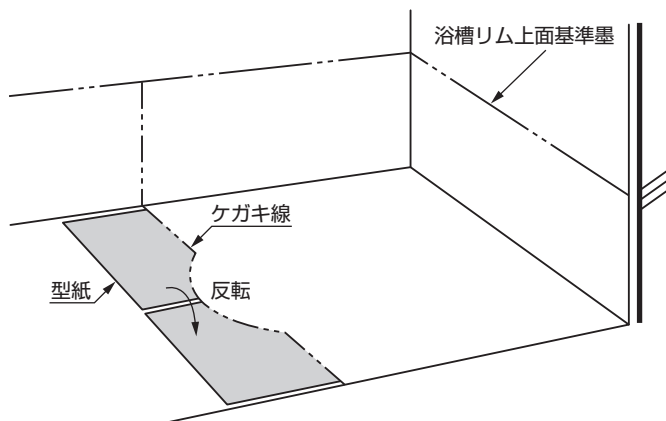
工事に不備があると階下へ水漏れし、家財などへ被害をあたえるおそれがあります。

#### 施工のポイント

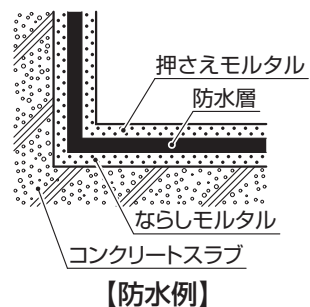
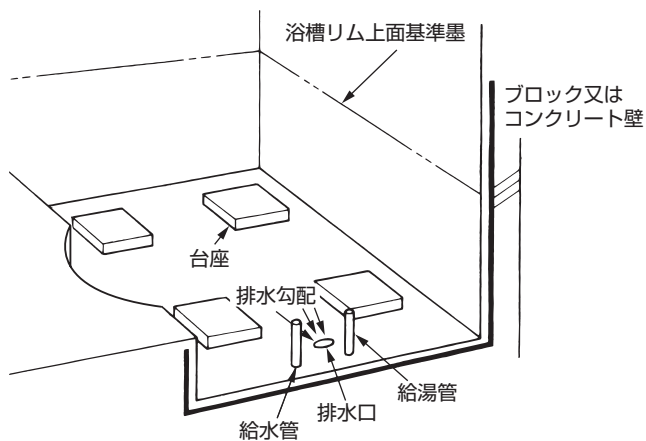
- 浴槽据付床の形状は、浴槽の形状・寸法に合わせて、十分なスペースを確保してください。
- 浴槽据付床は、排水勾配をとり、浴槽脚部はブロックやモルタルなどで台座を設けてください。
- 給水・給湯管を立ちあげる時は、水栓の位置を確認してから行ってください。
- 台座はすべて同じレベルになるように設置してください。

## (1) 下地づくり

- 浴槽据付床のスペース確保の為、型紙等を使用しケガキ線を入れて、下地を施工してください。



※型紙は浴槽形状の半分となっておりますので反転してご使用願います。



【防水例】

## (2) 排水配管の取り付け



**注意**



必ず実行

排水配管の取り付けは、手順にしたがって確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

①間接排水の場合は、浴槽の排水口下に径50mm以上の排水管を設けてください。

(図1 ※1参照)

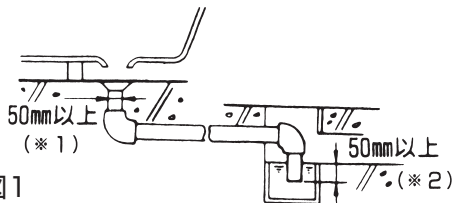


図1

- 排水配管の途中には下水ガスが浴室内に逆流しないよう必ず「**トラップ(封水深50mm以上)**」を設けてください。(図1 ※2参照)

②直接排水の場合、あらかじめ浴槽の排水金具にソケットやエルボをねじ込み配管をセットしてください。(図2参照)

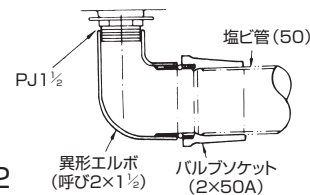


図2

- 直接排水の場合、排水金具にソケットやエルボをねじ込むときは**金具本体が共回りしないよう**十分ご注意ください。
- 直接排水の場合は、ゴムジョイントなどを用いて**建築躯体に振動が伝わらないよう配慮**してください。

## (3) 台座の設置

- 浴槽据付床は、排水勾配をとり浴槽脚部はブロックやモルタルなどで台座を設けてください。
- 台座はすべて同じレベルになるように設置してください。
- ブローバス防振パネル(別売品:品番FH91)を設置する場合は、**パネルの高さ(55mm)**を考慮してください。



## (4) ポンプ接続コード取出口の壁開口

- 浴槽・機能ユニットの設置位置を考慮してポンプ接続コード取出口を決め **φ110~120mm** で穴あけしてください。  
※メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの壁の場合は、パイプなどでコードの保護を行ってください。

## (5) ポンプ接続コード取出開口部の防水処理



**注意**

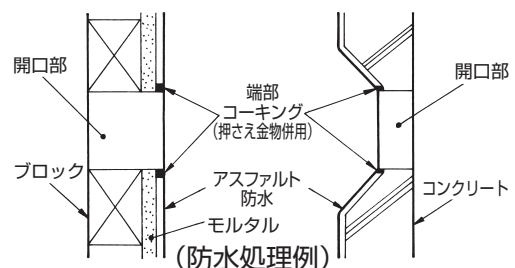


必ず実行

ポンプ接続コード取出開口部の防水処理は、確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

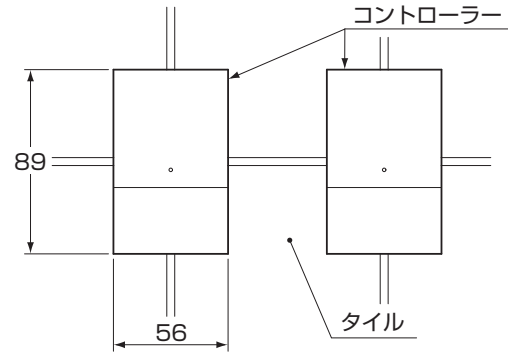
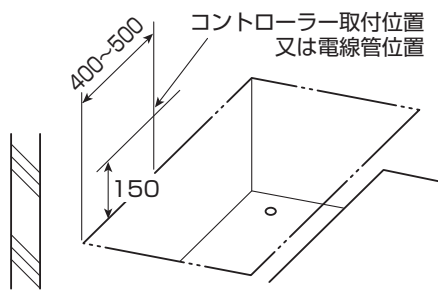
右図にある防水処理例を参考にして施工してください。



## 4 コントローラー取付位置の確認

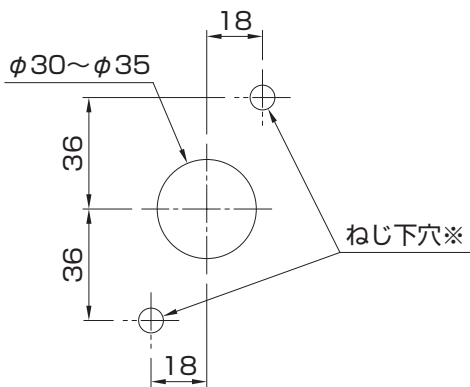
- タイル貼り基準・浴槽据付基準を確認考慮のうえ、浴槽の中および洗い場から容易に操作が行える位置にコントローラー取付位置墨を決めてください。

### <施工例>



- 浴槽上面とコントローラー取付芯は150mm以上離して取り付けてください。  
また、インテリアバーを取り付ける場合は、コントローラーとの取り合いにご注意ください。
- 付属のコントローラーコードの **長さは8m** です。  
8m以上必要な場合は、別売品の長尺コード(別売品:P43参照)を使用してください。

### <壁けがき・穴あけ>



コントローラー取付位置をけがき、取付芯に穴 $\phi 30 \sim \phi 35$ と、ねじ下穴(2ヶ所)をあけてください。

※ねじ下穴(2ヶ所)は、壁面に直接ねじで固定できる場合は $\phi 2.8$ であけてください。

※壁材により、ねじを直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ(現場手配)を打ち込んでください。

・下穴はプラグのサイズに合わせて穴あけしてください。

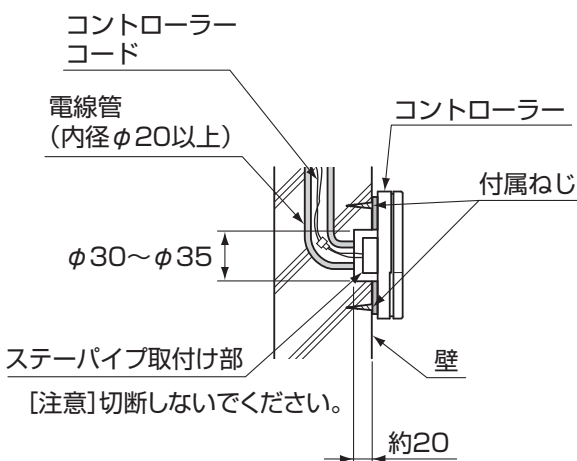
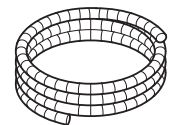
・プラグは、コントローラー付属ねじ $\phi 4 \times 25$ に合ったものを使用してください。

### <コントローラー取り付け>

#### 事前準備部材(現場手配)

電線管(内径 $\phi 20$ 以上)

※現場にあわせて必要な長さ、その他の必要部材を手配してください。



- 事前に壁内に電線管(内径 $\phi 20$ 以上)を設置してください。ステーパイプによる取り付けを行う場合は、別売品のステーパイプセット(P56参照)を使用してください。取付方法は付属の説明書を参照してください。  
配線を埋め込むと、メンテナンスができなくなります。

●コントローラー本体の **ステーパイプ取付け部を切断しない** てください。コントローラー内部に水が入り故障するおそれがあります。

●コントローラーコードは **コネクター部を切断しない** てください。



**注意**



必ず実行

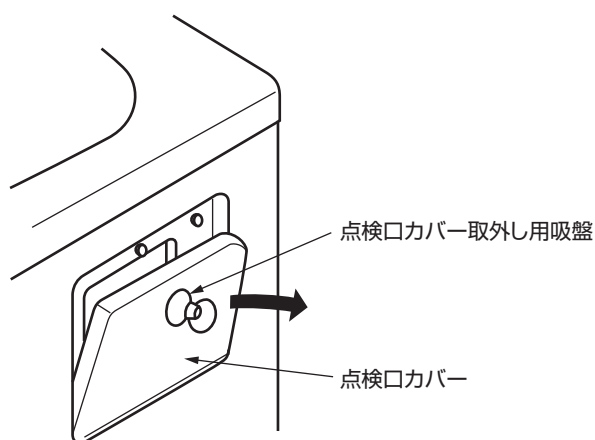
器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ・砂等を洗い流す  
管内にごみなどがあると流量が少なくなったり、故障の原因になります。

## (1) 点検口の取り外し

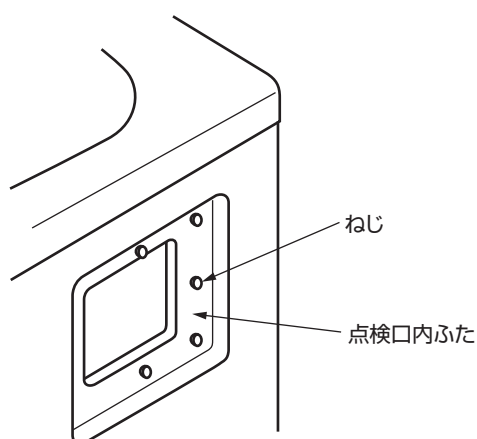
① 点検口カバー取外し用吸盤にて点検口上部を手前に引っ張り、点検口カバーを取り外してください。

※点検口カバー取外し用吸盤は、取扱説明書に同梱されています。

使い終わった後は、取扱説明書に同梱し、お客様へお渡しください。



② 点検口内ふたを固定しているねじを全て取り外し、点検口内ふたを取り外してください。



※ 点検口は全ての作業が完了してから取り付けてください。

取り付けは、取り外しの逆手順です。

ねじを締め付ける際は、**必ず手締め**で行ってください。

## ケースAの場合

### 5-A コードの取り出し、取り付け

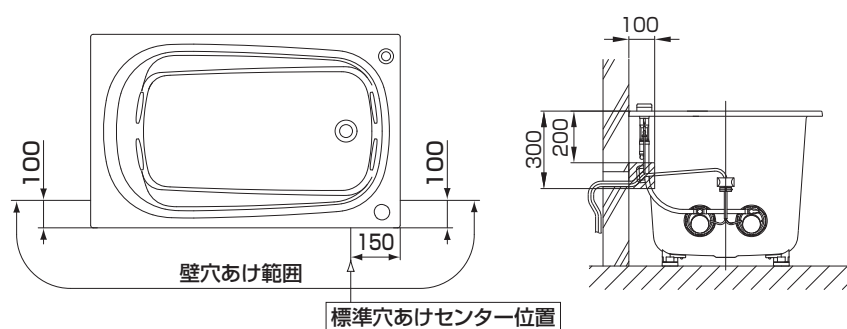
#### (1) ポンプ接続コードの取出し穴の開口

• ポンプ接続コードの壁取出し穴は  $\phi 110 \sim 120\text{mm}$  で穴あけしてください。

穴あけセンター位置は **足側リム端より150mmの位置が標準**です。

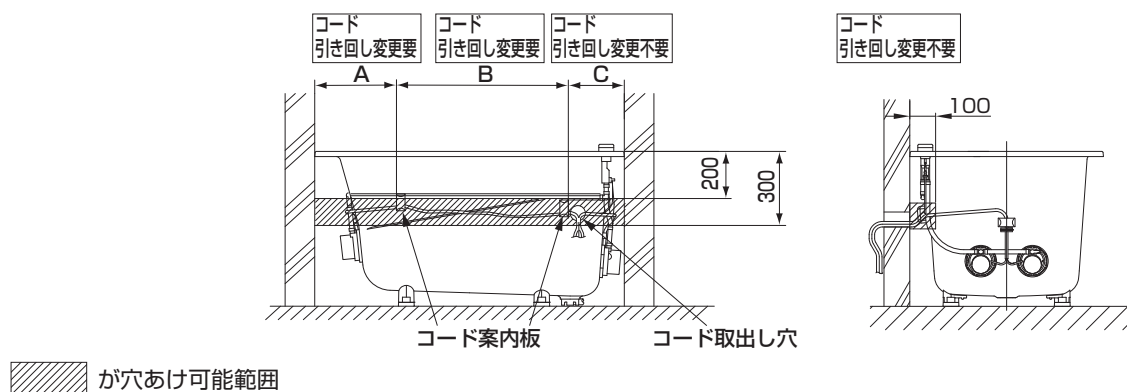
※メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの壁の場合は、パイプなどでコードの保護を行ってください。

※穴あけのセンター高さは、浴槽リム上面より下 **200~300mm** の位置としてください。



#### (2) コード引き回しの変更 (標準穴あけ位置以外の場合)

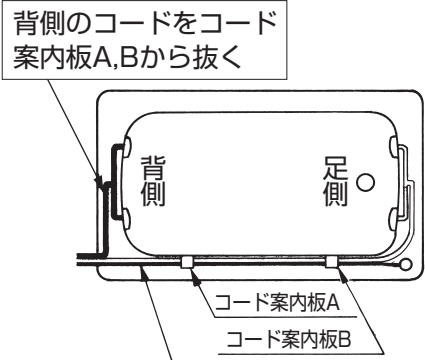
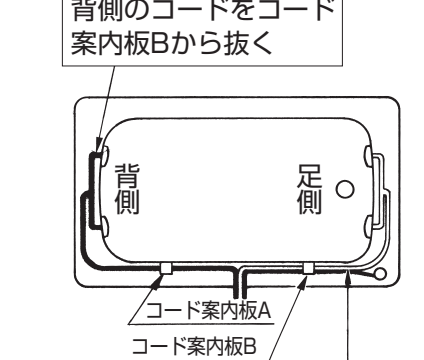
• コード引き直し変更要範囲に穴あけする場合は、ポンプ接続コードの引き直しを変える必要があります。(引き直しを行わないと接続コードのメンテナンスができなくなります。)



(mm)

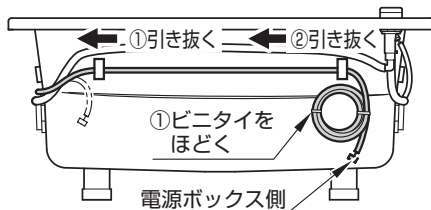
浴槽品番	A	B	C
PAQ1600	410	810	380
PAJ1600			
PAQ1610	380	840	380
PAJ1610			
PAQ1620	405	968	277
PAJ1620			
PAQ1400	307	786	307
PAJ1400			

## (引き回し変更例)

背側、Aの範囲に穴をあけた場合	Bの範囲に穴をあけた場合
<p>背側のコードをコード案内板A,Bから抜く</p>  <p>足側のコードをコード案内板A,Bに通す</p>	<p>背側のコードをコード案内板Bから抜く</p>  <p>足側のコードをコード案内板Bに通す</p>

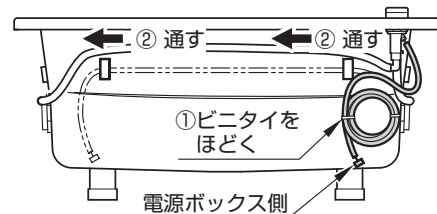
### コード案内板からコードを抜く場合

コードのビニタイをほどいて、ポンプモータ側からコードを引っ張って、電源ボックス側を抜いてください。



### コード案内板にコードを通す場合

コードのビニタイをほどいて、電源ボックス側のコネクタ側から通してください。



標準のポンプ接続コード8mで、長さが足りない場合は、別売品の長尺コード(P.43参照)を使用してください。



**警告**



禁止

接続コードの加工はしない  
感電や発熱の原因となります。

※必要な部材を手配の上浴槽設置前にコード交換を行ってください。

## ケースAの場合

### 6-A 浴槽の据え付け

#### 注意



必ず実行

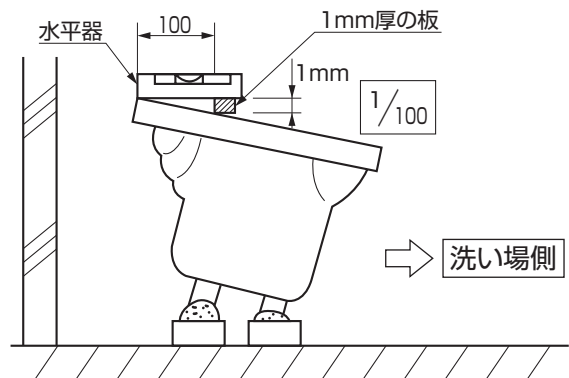
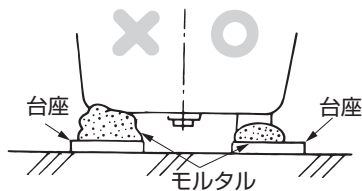
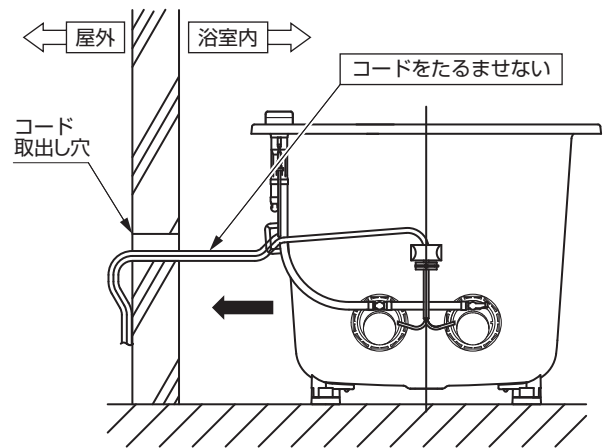
浴槽を据え付ける際の壁・タイルと浴槽・エプロンとの間には、すき間を設ける  
また、浴槽・エプロン周囲のコーキングは手順にしたがって確実に  
工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。  
また、浴槽の熱膨張によるタイルなどの壁材の破損及びブロー運転時の騒音の  
原因となります。



禁止

浴槽リム・浴槽裏面はモルタルなどで埋め戻さない  
ブロー運転時の騒音の原因となります。

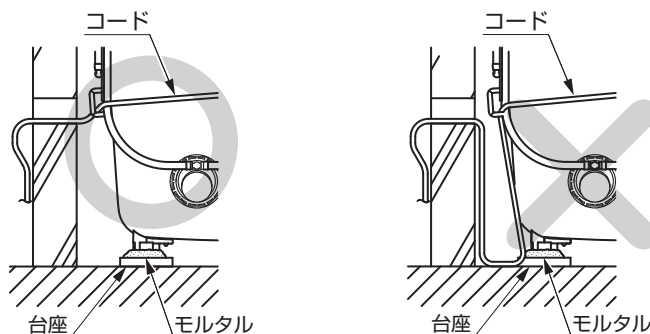
- (1) 水栓付浴槽の場合は、浴槽据え付け前に床面(又は壁面)より取り出している給水・給湯管にフレキ管を接続しておいてください。
- (2) コード取出し穴より **ポンプ接続コード2本を送り出して** ください。  
コードは浴室内でたるまないよう屋外に送り出してください。(コードが引っかかりメンテナンスができなくなります。) その時、**束ねてあるコードはほどいて** 取り出してください。
- (3) **浴槽は水平に** 据え付けてください。  
ただしPAV1600は、リム面の残水防止のため、**必ず洗い場側へ1/100傾けて据え付けてください。** 傾きを確認する際は、下図のように壁面のリムはじより100mmの位置に1mm厚の板などを置き、水平をとってください。



※浴槽の据え付けは、モルタル+強力接着剤にて確実に固定してください。  
その際、浴槽本体にモルタルをつけないようにご注意ください。

[注意] 浴槽は屋外や常時日の当たる場所に設置しないでください。浴槽の変色の原因となります。

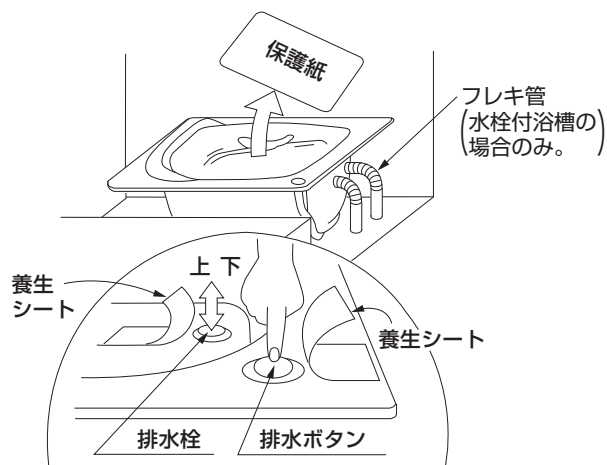
据え付ける時に**コードがモルタルに埋ったり**、床についたり、**浴槽に挟み込まれること**がないように注意してください。  
特に、短辺側にコードを引き出す場合は十分に注意してください。



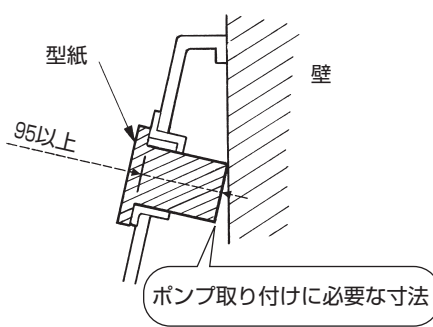
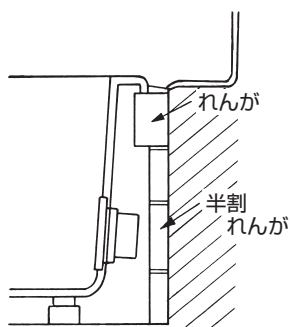
(4) ワンプッシュ排水栓仕様の場合、ワンプッシュ排水栓の作動確認を行ってください。

- 浴槽の保護紙をはずしてください。
- 排水ボタン部・排水栓部の養生シートをはがして排水ボタンを押し、**排水栓がスムーズに上下するか**確認してください。

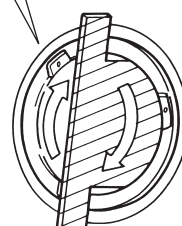
なお確認終了後は必ず保護紙および養生シートをもとの状態に戻してください。



(5) 「Ⅰ浴槽寸法図」(P.7～P.8)でポンプ取付け後の寸法を確認の上、ポンプが壁に当たらないよう施工を行ってください。  
デッキ施工を行う場合は、半割れんがなどでポンプをよけて施工してください。  
(付属のポンプ取合確認用型紙を使って、ポンプが壁に干渉しないことを確認してください。)



ポンプケースのフランジ部に当たるまで押し込んで1回転させ、壁面に当たらないことを確認してください。



## ケースBの場合

### 5-B コード取り出し、取り付け

#### (1) サヤ管の事前設置

##### ●事前準備部材（現場手配）

①サヤ管（PF管等）

- 内径φ36mm以上（ポンプ接続コード用）



注）「水道用サヤ管」は固くて曲げ半径が大きくなり引き回しが難しくなりますので、必ず「電線用サヤ管」を手配してください。

③木ネジ

- サドルバンド固定用



注）ねじ長さは20mm以下としてください。  
浴槽の固定板の厚みが25mmしかありません。

②サドルバンド（サヤ管固定用）

- ポンプ接続コードサヤ管固定用

※サヤ管径に応じたサイズをお選びください。



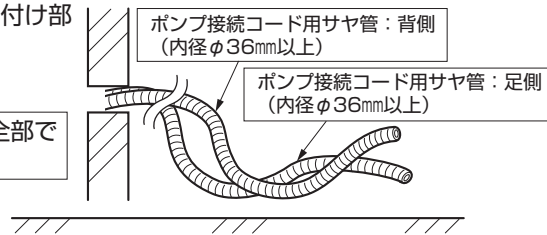
④針金等

- 接続コード引き出しに使用します。
- あらかじめサヤ管の中に通しておいてください。

※各部材については現場に合わせて必要数量を手配してください。

※サヤ管（PF管等）を浴槽下地づくり前に浴槽据付け部に取り出しておいてください。

注）接続コードは全部で2本あります。



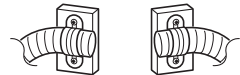
#### (2) サヤ管の浴槽への固定

浴槽についている固定板にサドルバンドにてサヤ管（PF管等）を固定してください。

<p>固定板</p>	<p>※固定板取付位置についてはP7～P8浴槽寸法図を参照ください。</p>
<p>固定板</p> <p>※木ネジR20mm以下を使用してください</p> <p>25mm</p> <p>サヤ管</p>	<p>ポンプ接続コードのサヤ管を固定板にサドルバンドにて固定してください。（背側、足側共）</p> <p>※サヤ管：内径φ36以上 サドルバンド：サヤ管径に応じたサイズ</p> <p>[注意] サヤ管の出口は固定板の端に合わせてください。</p>

注1：固定板へのサヤ管固定については現場の引き回し（点検口位置）に応じ固定板に対する取出方向や取付位置を変更して取り付けてください。

2：接続コードの施工については必ずサヤ管を使用してください。メンテナンスが出来なくなります。



### (3) ポンプ接続コードのサヤ管への引きまわし

ポンプ接続コードをサヤ管の中へ通します。

	<p>背側のポンプ接続コードをコード案内板より引き抜いてください。</p>
	<p>それぞれの接続コードにあらかじめサヤ管の中を通した針金等を巻き付けてください。</p> <p>※接続コードに巻きつける針金等は、あらかじめサヤ管の中を通しておいてください。</p> <p>※接続コードの「電源BOX側」と表示のある方をサヤ管に通してください。</p>
	<p>サヤ管の出口より針金を引っ張り接続コードをサヤ管の中を通して引き出してください。</p> <p>※接続コードがたれたままですとモルタルに埋れたり、床についたり、浴槽に挟み込まれる場合がありますので、コードを引き出す際は、たるみのないように引き出してください。</p> <p>※ { ①背側ポンプ接続コード ②足側ポンプ接続コード</p>

## ケースBの場合

### 6-B 浴槽の据え付け

#### 注意



必ず実行

浴槽を据え付ける際の壁・タイルと浴槽との間には、すき間を設ける  
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。  
また、浴槽の熱膨張によるタイルなどの壁材の破損及びブロー運転時の騒音の原因となります。



禁止

浴槽リム・浴槽裏面はモルタルなどで埋め戻さない

ブロー運転時の騒音の原因となります。

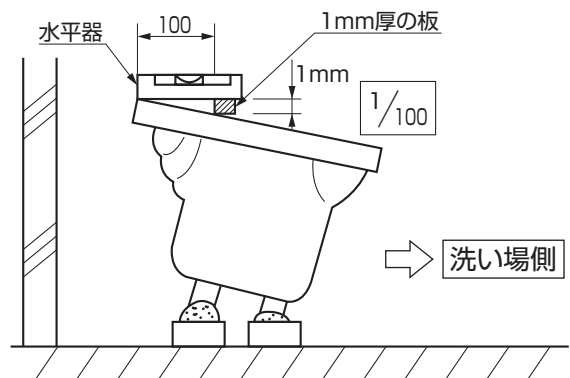
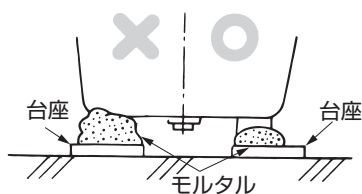
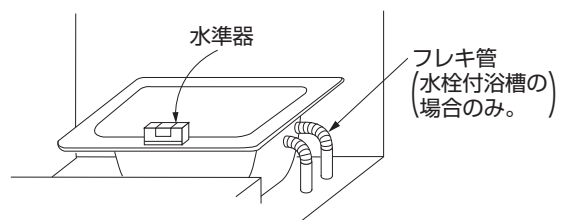
(1) 水栓付浴槽の場合は、浴槽据え付け前に床面(又は壁面)より取り出している給水・給湯管にフレキ管を接続しておいでください。

接続するフレキ管は水栓までの長さを確保した物を使用してください。

(2) **浴槽は水平に**据え付けてください。

ただしPAQ1600は、リム面の残水防止のため、**必ず洗い場側へ1/100傾けて据え付けてください。**

傾きを確認する際は、右図のように壁面のリムはじより100mmの位置に1mm厚の板などを置き、水平をとってください。



※浴槽の据え付けは、モルタル+強力接着剤にて確実に固定してください。

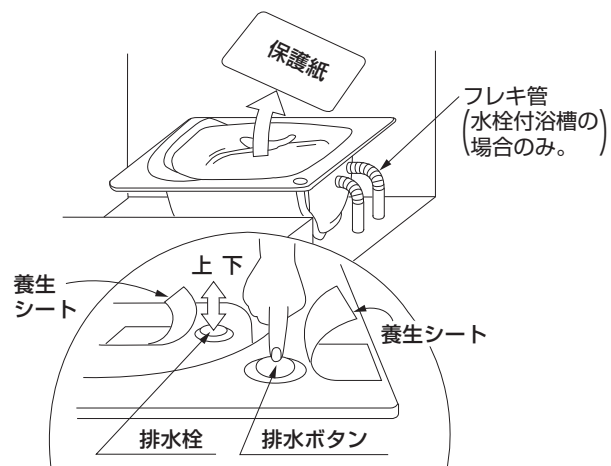
その際、浴槽本体にモルタルをつけないようご注意ください。

[注意] 浴槽は屋外や常時日の当たる場所に設置しないでください。浴槽の変色の原因となります。

(3) ワンプッシュ排水栓仕様の場合、ワンプッシュ排水栓の作動確認を行ってください。

- 浴槽の保護紙をはずしてください。
- 排水ボタン部・排水栓部の養生シートをはがして排水ボタンを押し、**排水栓がスムーズに上下するか** 確認してください。

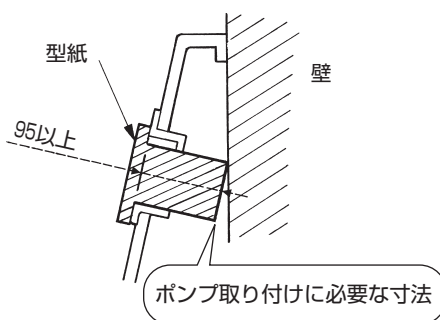
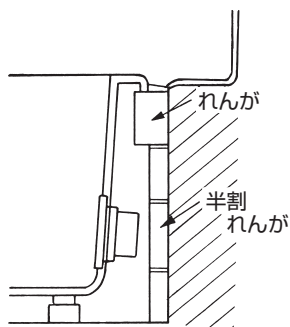
なお確認終了後は必ず保護紙および養生シートをもとの状態に戻してください。



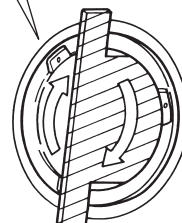
(4) 「Ⅰ浴槽寸法図」(P.7～P.8)でポンプ取付け後の寸法を確認の上、ポンプが壁に当たらないよう施工を行ってください。

デッキ施工を行う場合は、半割れんがなどでポンプをよけて施工してください。

(付属のポンプ取合確認用型紙を使って、ポンプが壁に干渉しないことを確認してください。)



ポンプケースのフランジ部に当たるまで押し込んで1回転させ、壁面に当たらないことを確認してください。

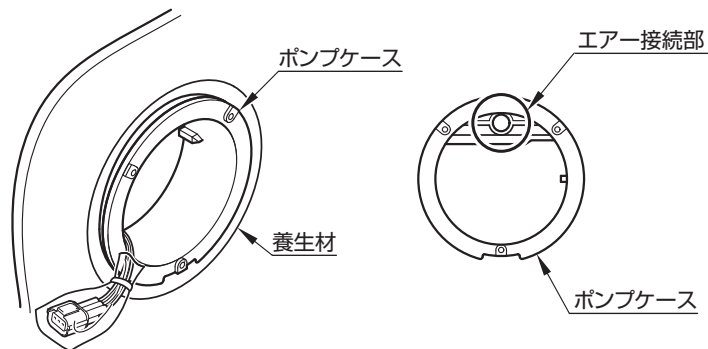


## 6-2. ポンプ・電源ボックス設置工事

### 1 ポンプ取り付け

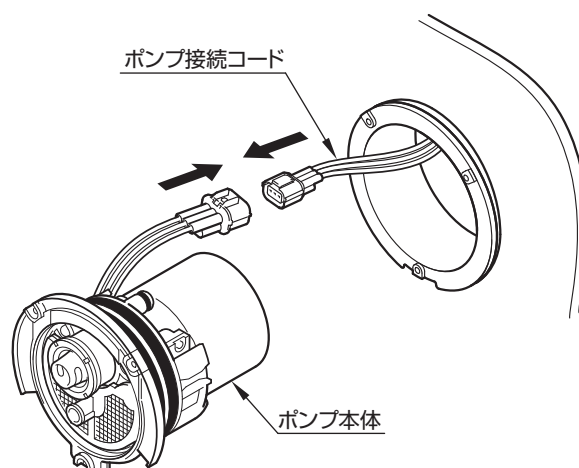
#### 浴室内作業

- ① ポンプケース・エア接続部にキズ・ごみ・汚れがないか確認してください。



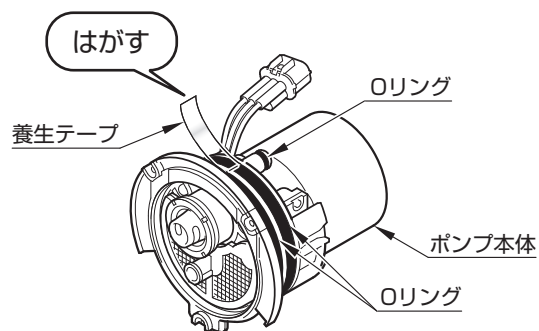
- ② ポンプ本体のコネクタと接続コードのコネクタを接続してください。

※ コネクタは“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。

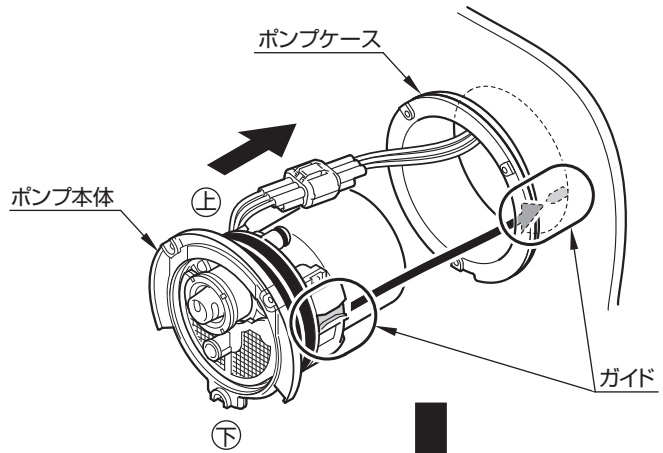


- ③ ポンプOリング部に巻いてある養生テープをはがしてください。

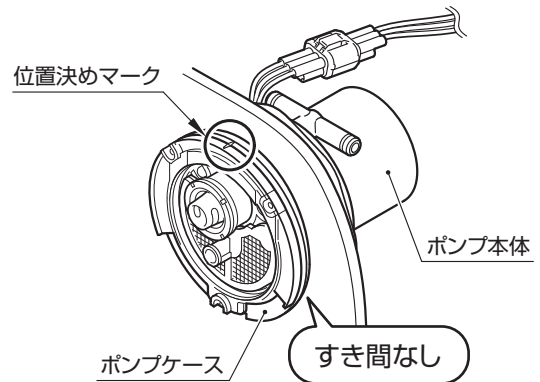
(Oリング(3個)が確実に付いていることを確認してください。)



- ④ ポンプ本体の上下及びポンプ本体とポンプケースのガイド位置を確認してください。

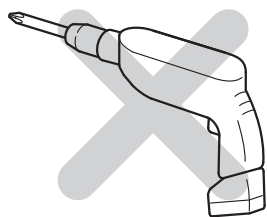


- ⑤ 先にコネクタを通し、コネクタがポンプ本体に乗り上げないように注意してポンプ本体とポンプケース中央上のマークを合わせるように入れてください。



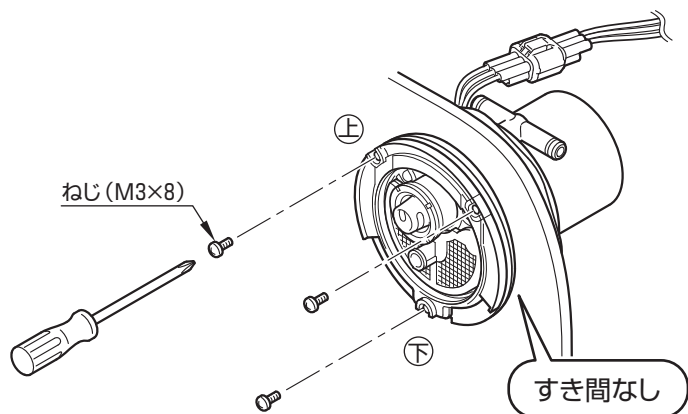
※ポンプ本体挿入時Oリングが入りにくいのでポンプ本体を強く手で押して、Oリングが外れないように注意しポンプ本体とポンプケースにすき間がないように押込んでください。  
 ※コネクタがポンプ本体に乗り上げているとエア接続部にコネクタがあたりポンプ本体が入りません。

- ⑥ ポンプ本体とポンプケースをねじ (M3) 3本でドライバーにて締め付けてください。



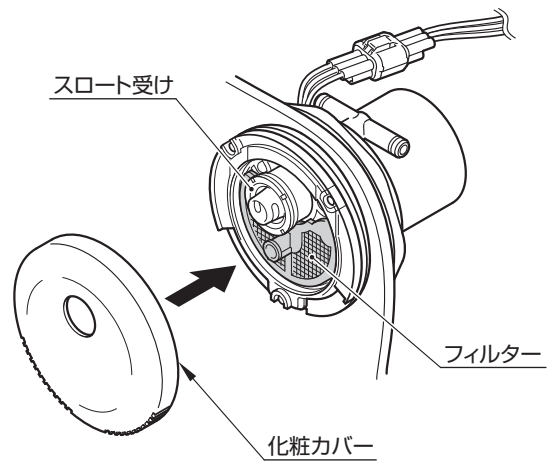
**電動ドライバー使用禁止**

(ねじ頭が変形してメンテナンスができなくなります。)

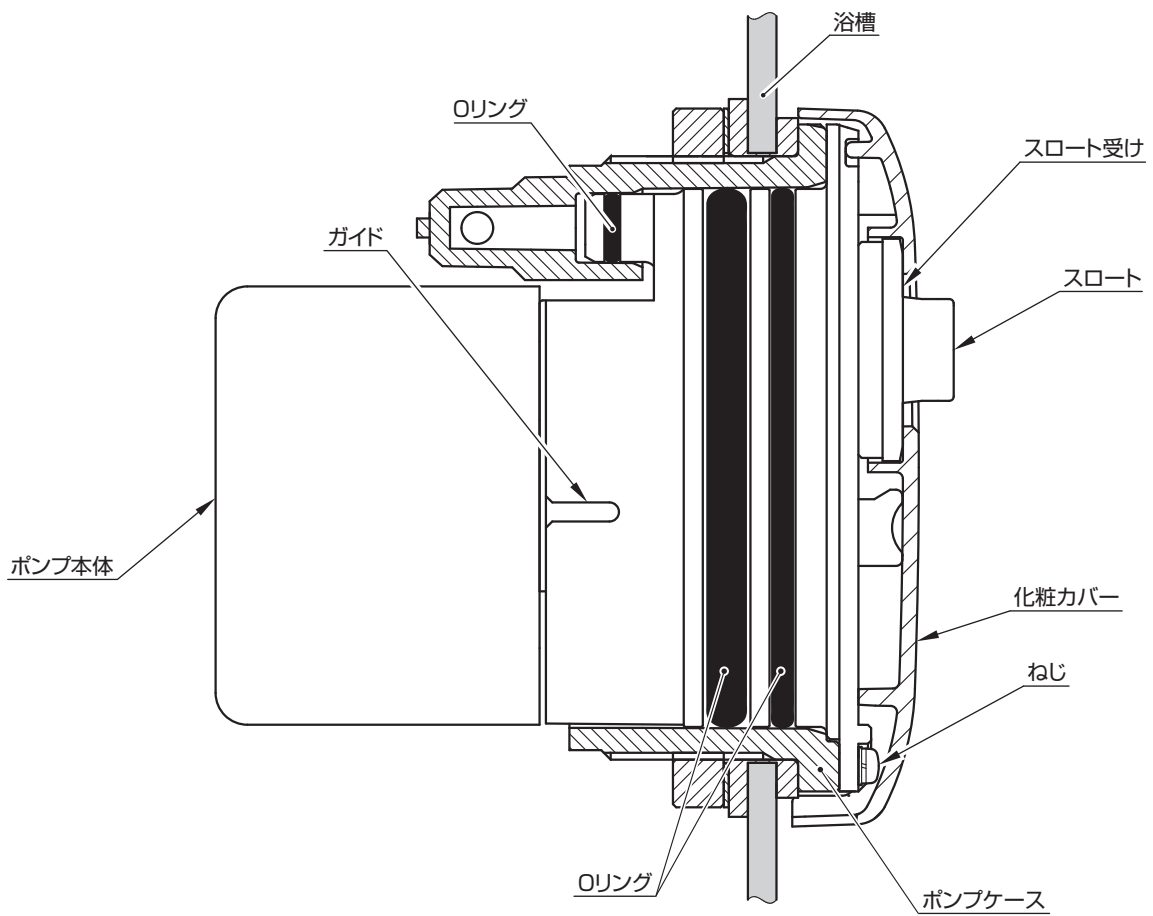


※ポンプ本体とポンプケースのすき間がないように確実に取り付けてください。  
 ※締めすぎによりねじの頭が変形してけがをするおそれのあるものは予備のねじと交換してください。

- ⑦ ポンプ本体にフィルターが付いていることを確認しスロット受けに合わせてポンプ本体に化粧カバーを取り付けてください。



### ポンプ取付完成図



## 2 電源ボックスの取り付け

### 警告



必ず実行

電源ボックスの取り付けは、質量に十分耐える強度のある壁に施工説明書通りに  
 確実に行う  
 工事に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。



禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取り付け  
 る場合、電源ボックスと造営物とは電氣的に接続しない  
 感電や発熱・火災の原因となります。

取り付けに必要なねじは **現場にて壁に適切なねじ** を準備してください。

<p>●ねじの取付位置は壁取付け用と絶縁板用があります。</p>	
<p>①壁に取付位置を決め、ねじを仮止めしてください。</p>	
<p>②電源ボックスをねじに引っ掛けてください。</p>	
<p>③電源ボックスの水平を出し、上側3本、下側2本、<b>計5本のねじ</b> を壁取付け用穴から止めてください。</p>	

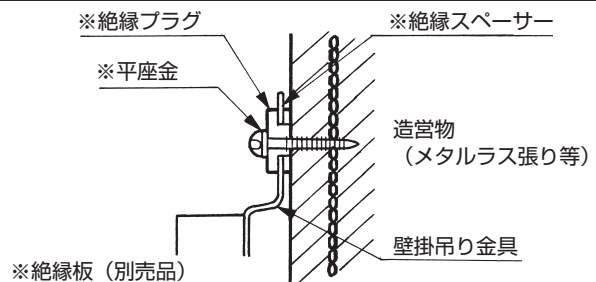
## 〈メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物の場合〉

### 絶縁板の取り付け

電気設備技術基準により、メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電気機器を取り付ける場合、機器と造営物とは、**電氣的に接続しないように施設**しなければなりません。

したがって右図のような施工が必要となります。

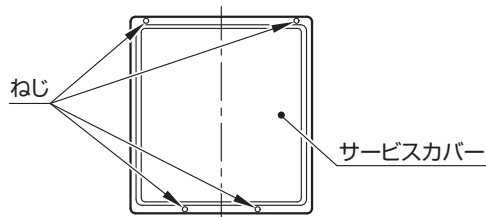
- 絶縁板取り付けの詳細は別売品絶縁板(品番RHG696)の施工説明書をご参照ください。



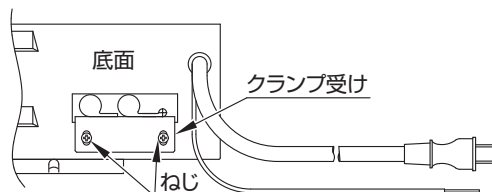
- 絶縁板の取り付けは壁掛け吊り金具の絶縁板取付用を使用してください。

## 3 コードの接続

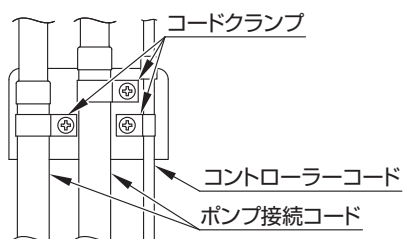
- ① サービスカバーを取り外してください。(ねじ4本)



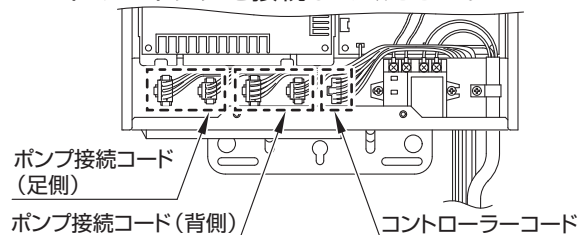
- ② 電源ボックス底面のクランプ受けを取り外してください。



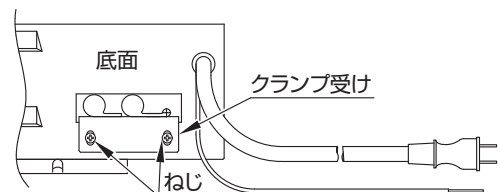
- ③ クランプ受けにポンプ接続コード2本、コントローラーコード1本をコードクランプで固定してください。(電源ボックスのコネクタと接続できる位置でコードクランプを固定してください。)



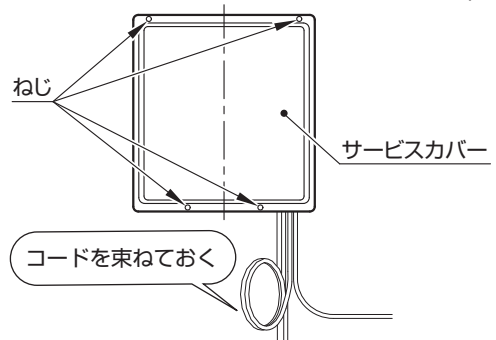
- ④ 接続コードの電源ボックス側コネクタを電源ボックス底面の開口部から通し、電源ボックスと接続コードのコネクタを接続してください。



- ⑤ クランプ受けを電源ボックス底面の開口部に差し込み、ねじで固定してください。



- ⑥ サービスカバーを取り付けてください。(ねじ4本)  
⑦ 余ったコードを束ねてください。  
※余ったコードは浴室に入れないでください。(コードのメンテナンスができなくなります。)



## 4 電気工事



**警告**



アース接続

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者(電気工事士)」が行うアースターミナル付防雨形コンセントを使用してください。(D種接地工事)

誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



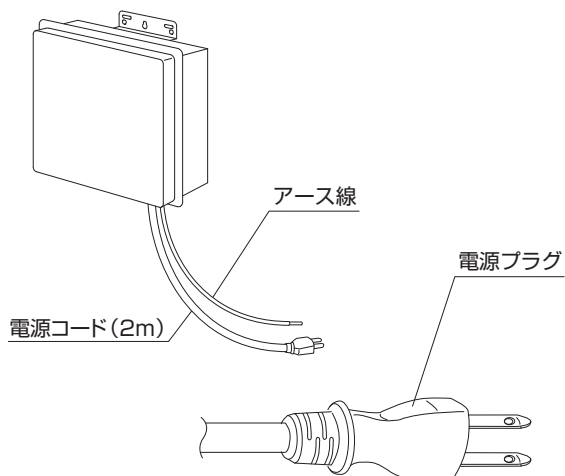
禁止

電源コードの加工や延長コードの使用、また、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。

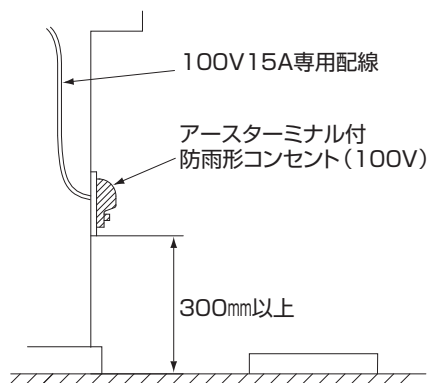
### (1) 電気工事

- ①電源コード(電源ボックスにセット)の有効長さは2mです。  
この電源ボックスの電源は交流100V(50/60Hz共用)  
消費電力は360Wです。



- ②電源コードの届く範囲内にアースターミナル付防雨形コンセントを設けてください。  
100V 15Aの**専用コンセントを使用**してください。

※同一コンセントより照明器具などを使用されますと、運転時の起動電流により照明のチラツキや他機器の誤動作の原因となりますので使用しないでください。



## 5 確認及び試運転

以下の内容で**確認及び試運転**をしてください。

### 確認

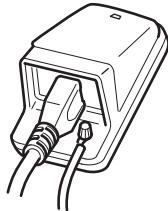
- 1 電源ボックス及びその周辺に点検、修理など**保守管理上必要な空間**があるか確認してください。
- 2 余ったコードは邪魔にならないよう、きちんとまとめてあることを確認してください。

### 試運転

コントローラーを電源ボックスのコントローラーコードに仮接続してください。



- ①電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。

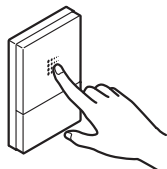


- ②ポンプの化粧カバーが完全に水没するまで給水してください。

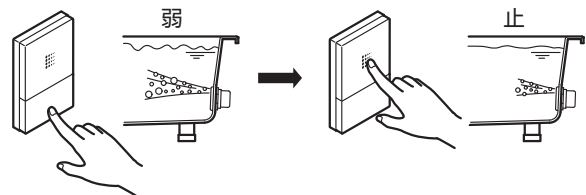
※ブロー運転時、化粧カバーが完全に水没していないと正常なブロー運転をしません。



- ③コントローラーのメインスイッチを押し、噴流が出ることを確認してください。



- ④コントローラーのモードのスイッチを押して弱運転(噴流が弱くなる)になることを確認してください。確認後、メインスイッチを押して噴流を止めてください。



- ⑤そのまま30分以上放置し、水位の低下がないか確認してください。

(浴槽裏面が見える場合は目視で確認してください。)

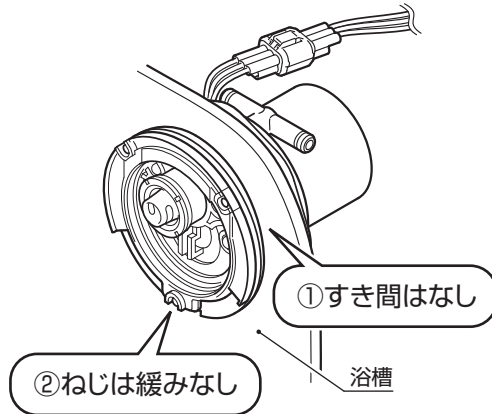
➡水位の低下がある場合は一度浴槽水を排水し、『水漏れ時の処置』を実施し、再度③～⑤の確認を行ってください。

- ⑥水位低下がないことを確認後、浴槽の水を抜いてください。
- ⑦お客様が長期間ご使用にならない場合には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 水漏れ時の処置

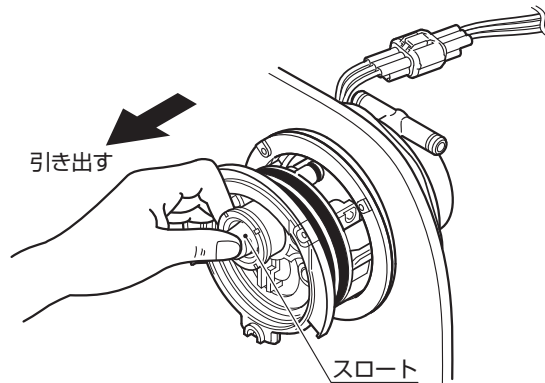
### ■ ポンプ取付状態での確認

- ① ポンプケースとポンプの間にすき間はありますか？  
(処置方法)  
ポンプを押し込んですき間をなくして取り付けてください。
- ② ねじは3本緩みなく確実に締められていますか？  
(処置方法)  
ねじを締め付けてください。

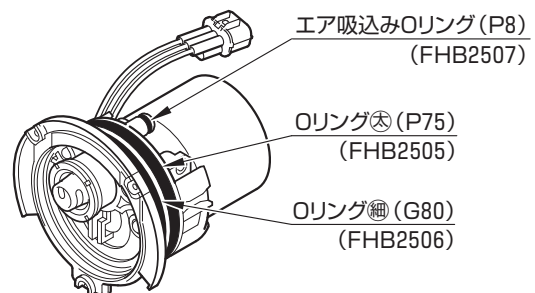


### ■ ポンプを外して確認

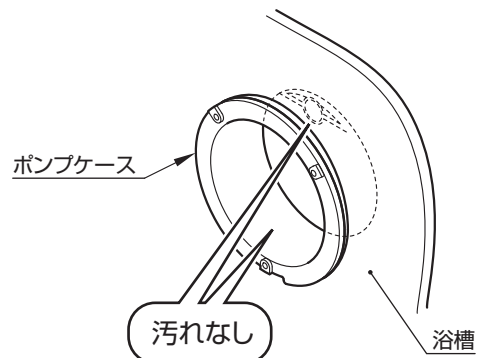
- ポンプはスロートを持ってゆっくり手前に引出してください。



- ③ Oリング (P75、G80、P8) によじれ、切れ、汚れはありませんか？  
(対処方法)  
キズ・よじれ、汚れを直す。切れている場合は部品を手配してください。  
(品番は右図参照)

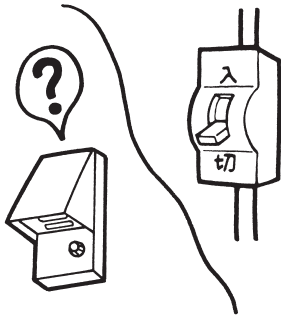


- ④ ポンプケースに汚れはありませんか？  
(処置方法)  
汚れを取り除いてください。



試運転時に作動しない場合、すぐ故障ときめつけず、次のことを確認してください。

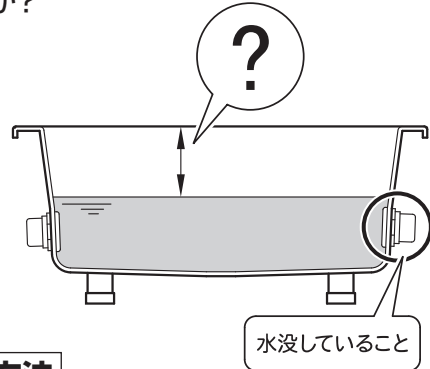
①電源電圧は正規にきていますか？



**処置方法**

電源電圧を確認してください。

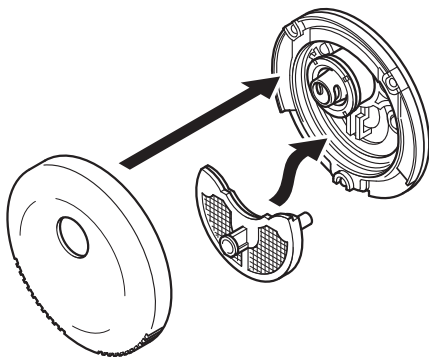
②浴槽の水位は標準水位に達していますか？



**処置方法**

浴槽のポンプの化粧カバーが完全に水没するまで、給水してください。

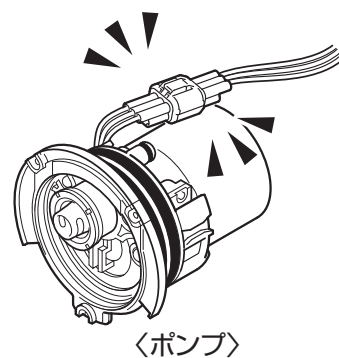
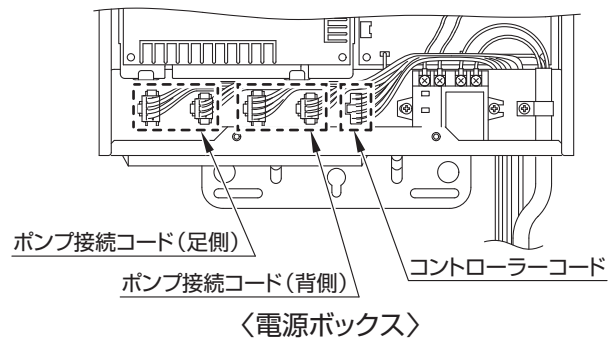
③化粧カバー・フィルターは正しくセットされていますか？



**処置方法**

化粧カバー・フィルターを正しくセットしてください。  
※化粧カバー・フィルターが正しくセットされていないとポンプが作動しません。

④コントローラーコード及びポンプ接続コードは確実に接続されていますか？



**処置方法**

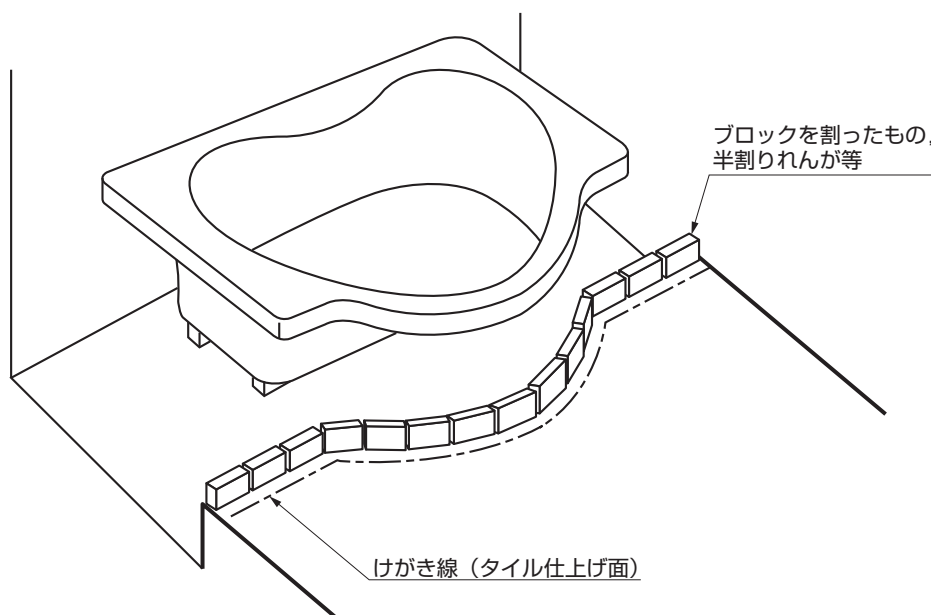
コネクタを正しく接続してください。

## 6-3. 仕上げ

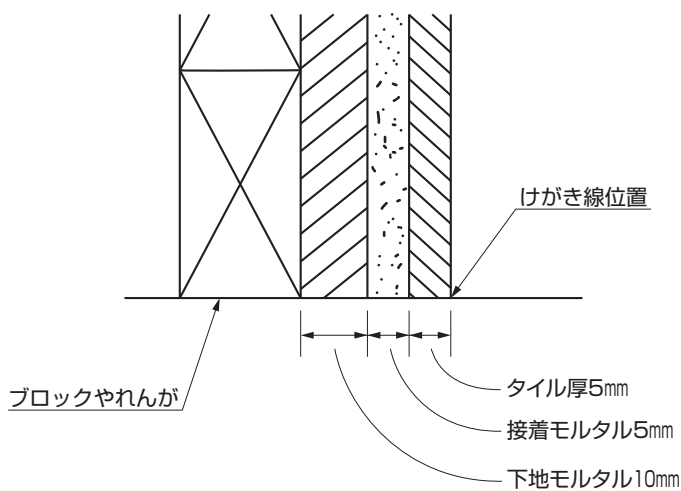
### 1 タイル仕上げ

#### (1) ブロック・れんがなどの立上げ工事 (エプロンなしの場合)

エプロンリム面一施工の場合は、けがき線の位置がエプロンのタイル仕上げ面となるように、下地の厚みを考慮しエプロン部の下地を立ち上げてください。



#### 【エプロン部下地厚み参考例】



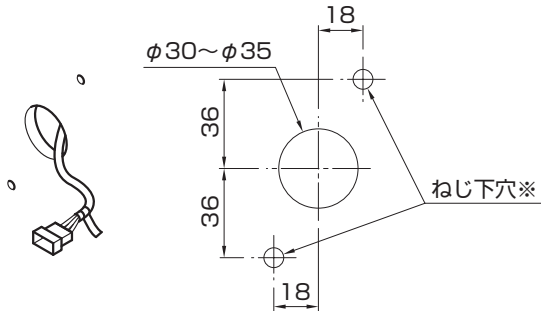
(上記寸法は参考例です)

#### 下地厚み：20mmの場合

けがき線より20mm程度浴槽側へよせた位置にブロックを割ったものや半割りれんが等を立ち上げてください。

## (2)コントローラーの取り付け

①電源ボックス側より引き込んだコントローラーコードを取り出します。

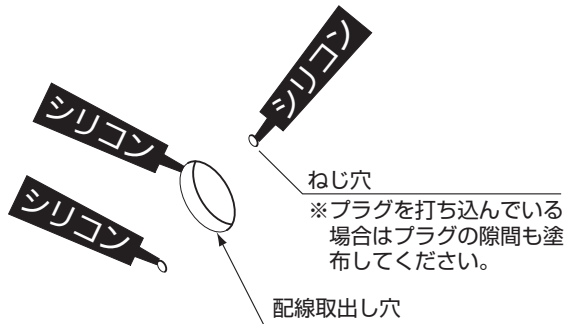


※ねじ下穴(2ヶ所)は、壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8であけてください。

※壁材により、ねじが直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ(現場手配)を打ち込んでください。

- ・下穴はプラグのサイズに合わせて穴あけしてください。
- ・プラグは、コントローラー付属ねじφ4×25に合ったものを使用してください。

②配線の取出し穴の全周と、ねじ穴にシリコンを塗布します。



③コネクタを接続し、コントローラー付属ねじでコントローラーを固定します。  
※取り付けの際、水平を確認しながら傾きがないように取り付けてください。

### ⚠️ 注意

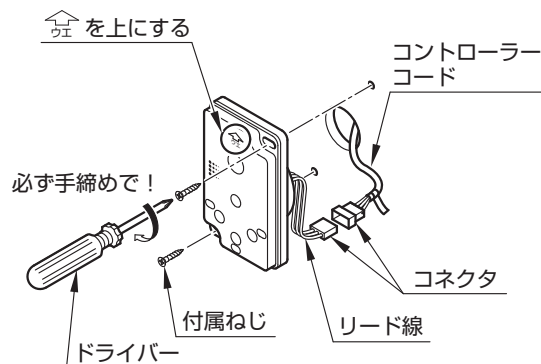


電動ドライバーは使用しない  
強く締め過ぎると破損します。



必ず実行

コントローラーコードと、コントローラーのリード線のコネクタの色・芯数・名称タグを合わせて接続する



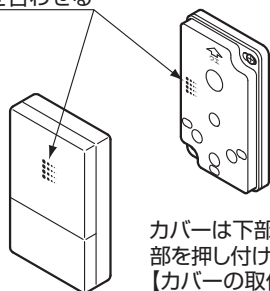
④コントローラーカバーを取り付けます。

※取り付けの際、カバーを間違えないように注意してください。



コントローラーの外周はコーキングしない  
カバーが外れなくなります。

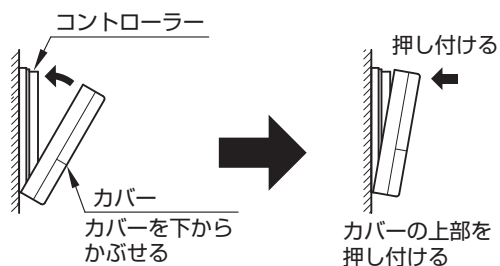
マークを合わせる



カバーは下部からかぶせて上  
部を押し付ける。  
【カバーの取付方法】参照

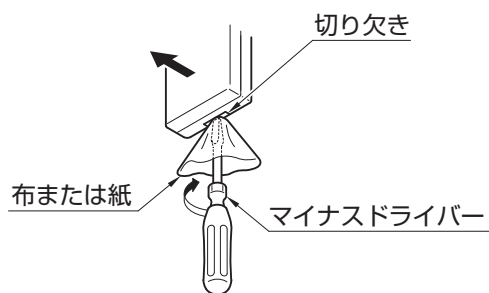
### 【カバーの取付方法】

※コントローラーカバーは確実に取り付けてください。  
操作できなくなります。



### 【カバーの取外し方法】

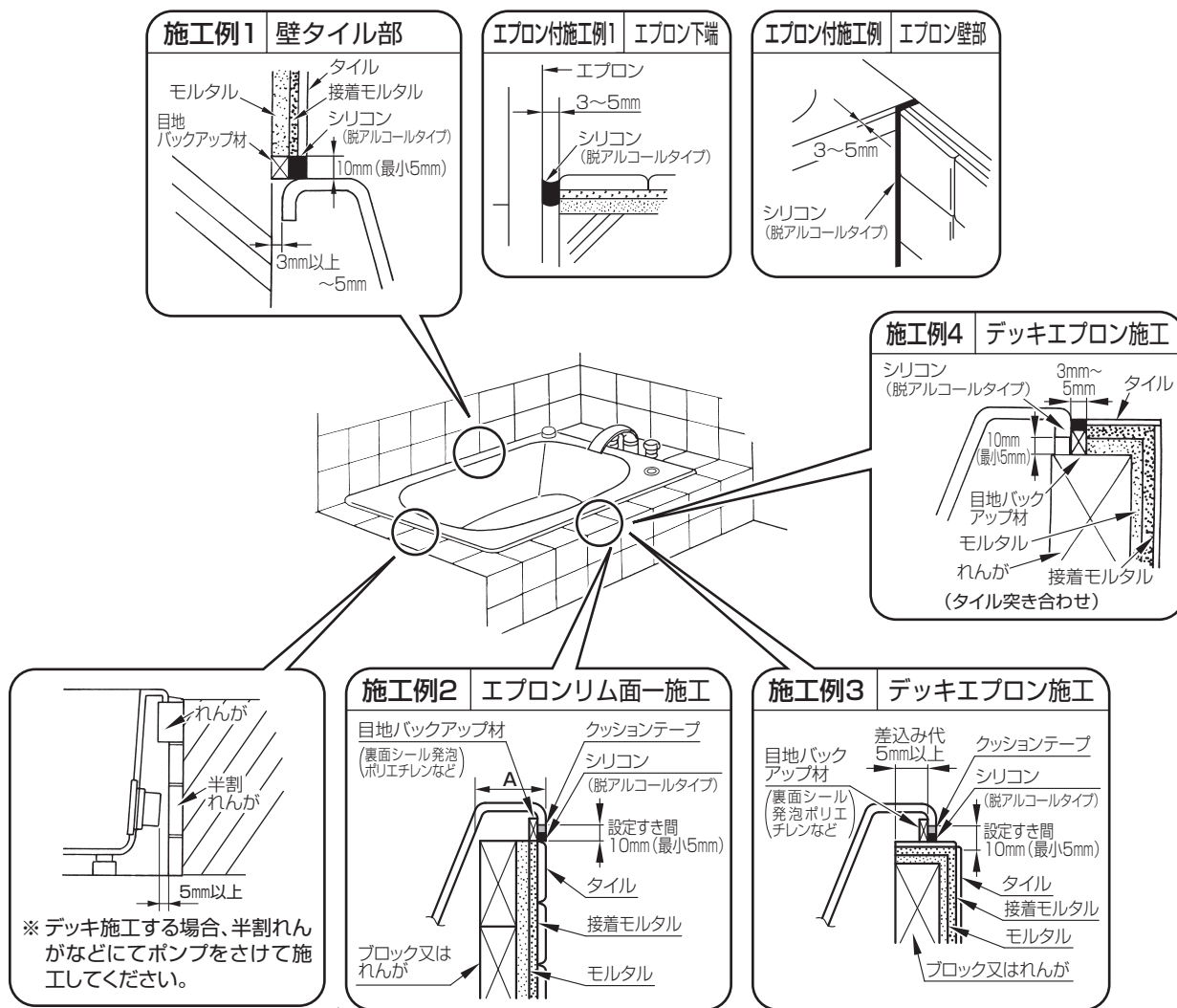
※カバーを取り外すときは、傷がつかないように布や紙を  
あてたマイナスドライバーで軽くひねってください。



### (3) タイル仕上げ

壁面およびエプロン部の仕上げは振動を軽減するため浴槽とタイルとの目地充填には、**脱アルコールタイプ**のシリコンをご使用ください。

また、施工例を参考に浴槽と壁およびタイルとのすき間を必ず確保してください。

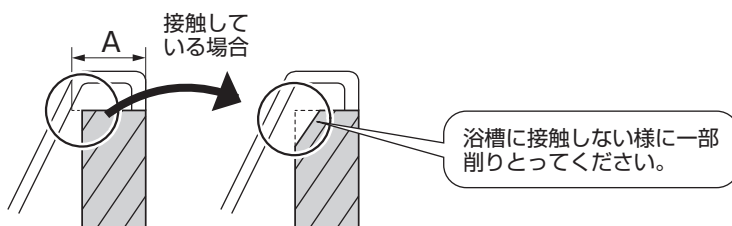


※ 目地バックアップ材は現場にて手配願います。また、デッキエプロン施工の場合、目地バックアップ材は、必ず浴槽据付け前にデッキ面もしくは浴槽リム裏面に貼り付けてください。浴槽据付け後では、目地バックアップ材を入れられない場合があります。ブロックの積み上げやタイル貼付け時にはみ出したモルタルが、浴槽に接触しないようご注意ください。浴槽破損の原因となります。

※ <エプロンリム面一施工>を行う場合、浴槽によってA部寸法がせまい機種があります。(下表参照) その際は半割りれんが、ブロックの一部を削り取る等の作業を行い、浴槽に接触しない様に施工してください。

<エプロンリム裏最小寸法>

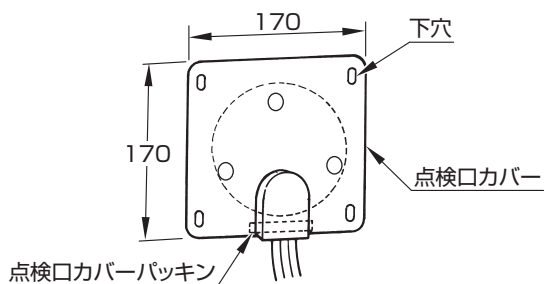
品番	A部寸法
PAQ1600	約55mm
PAQ1610	約37mm
PAQ1400	約48mm
PAQ1620	約46mm



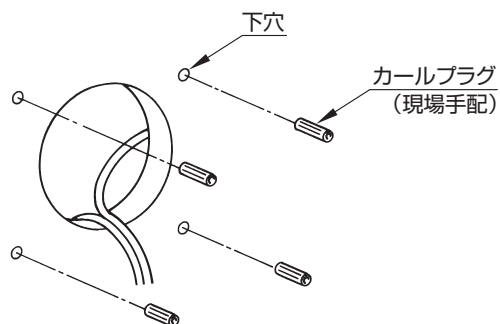
## 2 点検口カバーの取り付け

木ねじ、カールプラグは現場にて手配願います。

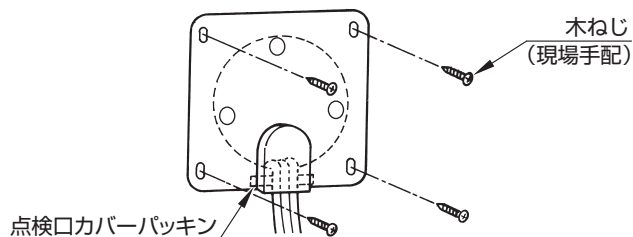
- ①コード取出し穴に点検口カバーを現物合わせして下穴位置をけがいてください。  
(4カ所)  
※点検口カバーパッキンでコードを押さえる位置になるようにセットしてください。



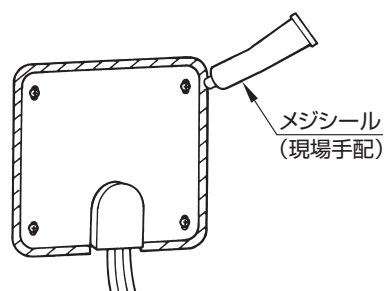
- ②下穴位置にドリルで穴をあけ、カールプラグをプラスチックハンマーで打ち込んでください。



- ③点検口カバーパッキンで中継コードを押さえるように点検口カバーをセットし、木ねじで固定してください。



- ④点検口カバーの周囲をコーキングしてください。



# 7. 最終確認

- 設置ならびに工事が終わりましたら、以下の内容で確認及び点検を行ってください。

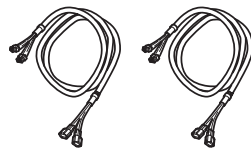

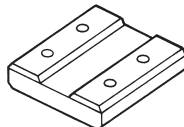
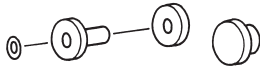
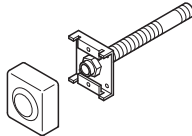

## 1 ブローバスSXⅡの確認及び試運転

全ての工事、設置が完了しましたらP35『確認及び試運転』の要領で再度、確認・試運転を行ってください。

※水中照明Ⅲ付きの場合は、別冊の **水中照明Ⅲ 施工説明書** に記載している要領で確認及び試運転を行ってください。

# 8. 別売品一覧表

- 別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって取付工事を行ってください。

品名	品番	必要数/台	形状	用途
長尺コード	15m PZ6075	1	ポンプ接続コード×2 	電源ボックスと浴槽が標準以上に離れた位置に設置された場合、付属のポンプ接続コード・コントローラーコードでは長さが足りません。その場合の交換用部材です。
	15m PZ6076	1	コントローラーコード×1 	
防振パネル	FH91 (1枚入り)	4 注)：6		ブローバス運転中の作業音が階下や隣室に伝わるのを防ぐため使用します。
絶縁板	RHG696 (4個入り)	1		メタルラス張り・ワイヤラス張り等の壁と絶縁するためのセットです。
ステーパイプセット	PZ6060	1		コントローラーを壁に取り付けるときに最大壁厚220mmまで対応可能なステーパイプのセットです。
長尺ステーパイプ	FH77	1		壁の厚みが220mm以上の場合、最大壁厚400mmまで対応可能なステーパイプです。

※水中照明Ⅲの別売品は、別冊の水中照明Ⅲ 施工説明書 に記載しています。

注) PAQ/J1620、1621は6枚必要です。

# MEMO

---



